

Media Gateway

ヘルプ

Software Version 2.8

PWA-MGW1

概要

本ソフトウェアは、4K-Live システムでサーバーに収録されたファイルをメディアにアーカイブしたり、メディアに格納したファイルをサーバーにリトリブするソフトウェアです。

次のメディアを使用できます。なお、オプティカルディスクアーカイブカートリッジ以外のメディアを使用する場合は、オプションキーが必要になります。オプションキーについて詳しくは、ソニーのサービス担当者または営業担当者にお問い合わせください。

- 内蔵ストレージ
- オプティカルディスクアーカイブカートリッジ（以下、カートリッジ）
- ハードディスクドライブ
- SxS メモリーカード
- プロフェッショナルディスク
- ネットワークドライブ

また、他社サーバーにファイルをアーカイブすることもできます。

操作画面

本セクションでは、本ソフトウェアの各画面について、各部の機能と働きを説明しています。

- ホーム画面
- 他社サーバー画面
- 設定画面
 - My Settings ページ
 - PRC Manager ページ
 - Server ページ
 - Media ページ
 - External ページ
 - Users ページ
 - Maintenance ページ
 - Transcode ページ
 - Misc. ページ

ホーム画面

アーカイブやリトリブなどの操作を行います。

ホーム画面は、次の各部から構成されます。

The screenshot shows the Home screen of the software, divided into several sections. Red lines with numbers point to specific areas:

- (1) Points to the **Media** tab on the left sidebar.
- (2) Points to the **Server** tab on the left sidebar.
- (3) Points to the **Media Gateway** tab on the right sidebar.
- (4) Points to the **Clip** list on the right sidebar.
- (5) Points to the **Job** list at the bottom of the screen.

The main content area displays a table of media clips with columns: Video Pixel, Video Codec, Audio Codec, FPS, and Size. Below this, there's a section for **PWS-4500** with a **Free Space: 1.07 TB** indicator and a **Retrieve mode** dropdown.

The **Media Gateway** section on the right shows a list of clips with columns: Clip ID, Clip Name, Date Archived, and IN TC. Below this, there's a **STORAGE** section with a **Free Space: 821.38 GB** indicator and a **Direct Archive** button.

The **Job** list at the bottom shows a table of jobs with columns: Group ID, ID, Type, Clip ID, Name, From, To, Status, Progress, User, Create Time, Start Time, and End Time.

共通の操作

ツリーエリア（サーバー / メディアエリアの左側）

- 複数選択はできません






リストエリア（サーバー / メディアエリアの右側、ジョブエリア、[Placeholder] ダイアログ）

操作方法は、エクスプローラーと同じです。

- Shift キーや Ctrl キーを押しながら選択することで、複数選択できます。
- Ctrl+A で全選択できます。

(1) グローバルメニュー

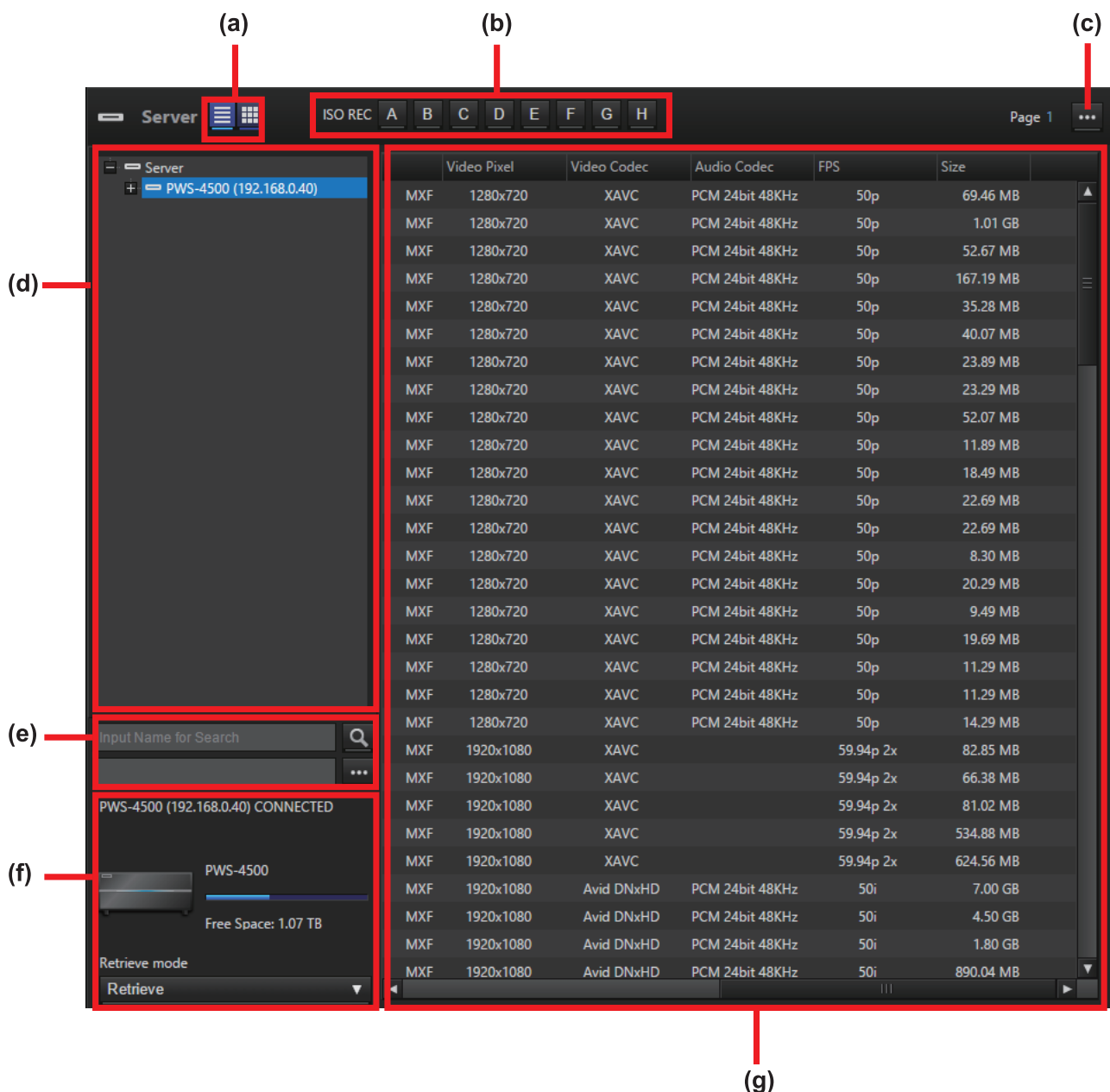
アイコンをクリックして、画面を移動します。

-  (Media) : ODS カートリッジなどのメディアとの間でアーカイブ / リトリートを行うための画面を表示する。
-  (External) : 他社サーバーにアーカイブするための画面を表示する。設定画面で他社サーバーの設定が行われていない場合は、アイコンが表示されない。
-  (ヘルプ) : ヘルプおよびバージョン情報を表示する。
-  (設定) : 設定画面を表示する。
-  (ログアウト) : ログアウトする。

(2) サーバーエリア

サーバー（PWS-4500/BPU4800）内のファイルを表示します。

アーカイブ時には、アーカイブするファイルを選択します。リトリート時には、リトリートするファイルの保存先を選択します。



(a) 表示切り換えボタン

リストエリアのリスト表示とタイル表示を切り換えます。

(b) ISO REC ボタン

Camera ID ごとにボタンがあります。ボタンをクリックすると、サーバーで記録中のファイルを並行してメディアにも記録します。詳しくは、「サーバーで記録中のファイルをメディアに記録する (ISO REC)」をご覧ください。

(c) プルダウンメニュー

⋮ をクリックすると、プルダウンメニューが表示されます。プルダウンメニューには、次のメニューがあります。

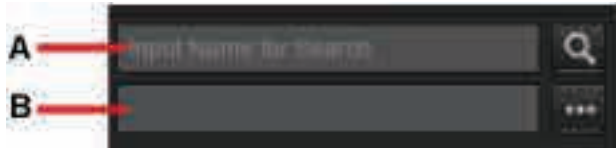
- Delete : 選択したファイルを削除します。
- Rename Clip : 選択したクリップの名称を変更します。
- Open Placeholder (プレースホルダーを開く) : [Placeholder] ダイアログを開きます。プレースホルダーは、異なるサーバーにあるファイルを一括してアーカイブする場合に、一時的にファイルを保持する仮想フォルダーです。グローバルメニューで [External] を選択した場合は、このメニューは表示されません。

- ISO REC Settings：サーバーで記録中のファイルを直接メディアに転送したい場合に、[ISO REC Mode] ダイアログを表示して設定を行います。グローバルメニューで[External]を選択した場合は、このメニューは表示されません。
- Select Column：サーバーエリアのリストエリアに表示する項目を選択します。
- Stop：BPU4800 のトランスコード処理を中止します。

(d) ツリーエリア

サーバーを表示します。複数のサーバーが表示できます。

(e) 検索エリア



メディア内のファイルを検索します。フリーワードによる検索と、複数の検索キーを組み合わせた検索が可能です。


フリーワード検索

1. ツリーエリアで検索対象のメディアやフォルダーを選択する。
2. A に検索する文字列を入力する。

リストエリアに表示される項目すべてで検索できます。


IN TC、Duration は、完全一致で検索します。Clip ID、File Name、Clip Name、Keyword、Memo、Date Modified、Type、Video Codec、Audio Codec、Archived Date、Creation Date、Video Pixel、FPS は、部分一致で検索できます。サイズで検索する場合は、実際のファイルサイズと完全に一致している必要があります。

キーワードをスペースで区切って複数入力すると、OR 検索ができます。

3.  ボタンをクリックする。

検索結果がリストエリアに表示されます。

検索キーを組み合わせた検索

1. ツリーエリアで検索対象のメディアやフォルダーを選択する。
2.  をクリックする。

[Server Search] ダイアログが表示されます。

3. ダイアログで検索条件を設定します。

文字列を直接入力可能な項目は、部分一致で検索されます。キーワードをスペースで区切って複数入力すると、OR 検索ができます。

4. [AND Search] ボタンまたは [OR Search] ボタンをクリックする。

設定した検索キーが B に表示され、検索結果がリストエリアに表示されます。

(f) サーバー情報表示

選択したサーバーの情報を表示し、リトリブモードを選択します。次の内容を表示します。

- サーバーの名称
- サーバーの空き領域（バーでも表示されます）

ご注意

メディアの状態によっては、表示される容量と実際に使用できる容量が異なる場合があります。

Retrieve mode

選択したサーバーにリトリートする際のリトリートモードを選択します。通常のリトリート、またはトランスコード設定が選択できます。トランスコード設定は、設定画面の [Transcode] ページで行います。

(g) リストエリア

ファイルリストには、次の内容を表示できます。表示項目は、プルダウンメニューの [Select Column] で選択できます。

- Clip ID : 次の形式で付与された ID (Page 値 +Bank 値 +Clip No.+CameraID)
- File Name : ファイル名 (デフォルト : 非表示)
- Clip Name : クリップ名
- Rating : 評価 (デフォルト : 非表示)
- Keyword1 ~ Keyword5 : キーワード (デフォルト : 非表示)
- Memo : メモ (デフォルト : 非表示)
- Date Modified : 最終更新日時
- Duration : 素材長
- File Type : ファイルの拡張子 (MXF/MOV)
- Video Resolution : ビデオの解像度
- Video Codec : ビデオコーデック
- Audio Codec : オーディオコーデック
- FPS (Frequency) : フレーム周波数
- Size : ファイルのサイズ
- Colors : 色タグ (デフォルト : 非表示)
- トランスコード状態アイコン : BPU4800 のトランスコードの状態
アイコン無し : トランスコードなし / トランスコード済み



：トランスコード待ち



：トランスコード中

(3) 転送ボタン



(アーカイブ) ボタン

サーバーからメディアにファイルをアーカイブします。メディアエリアで選択したアーカイブモードでアーカイブが行われます。



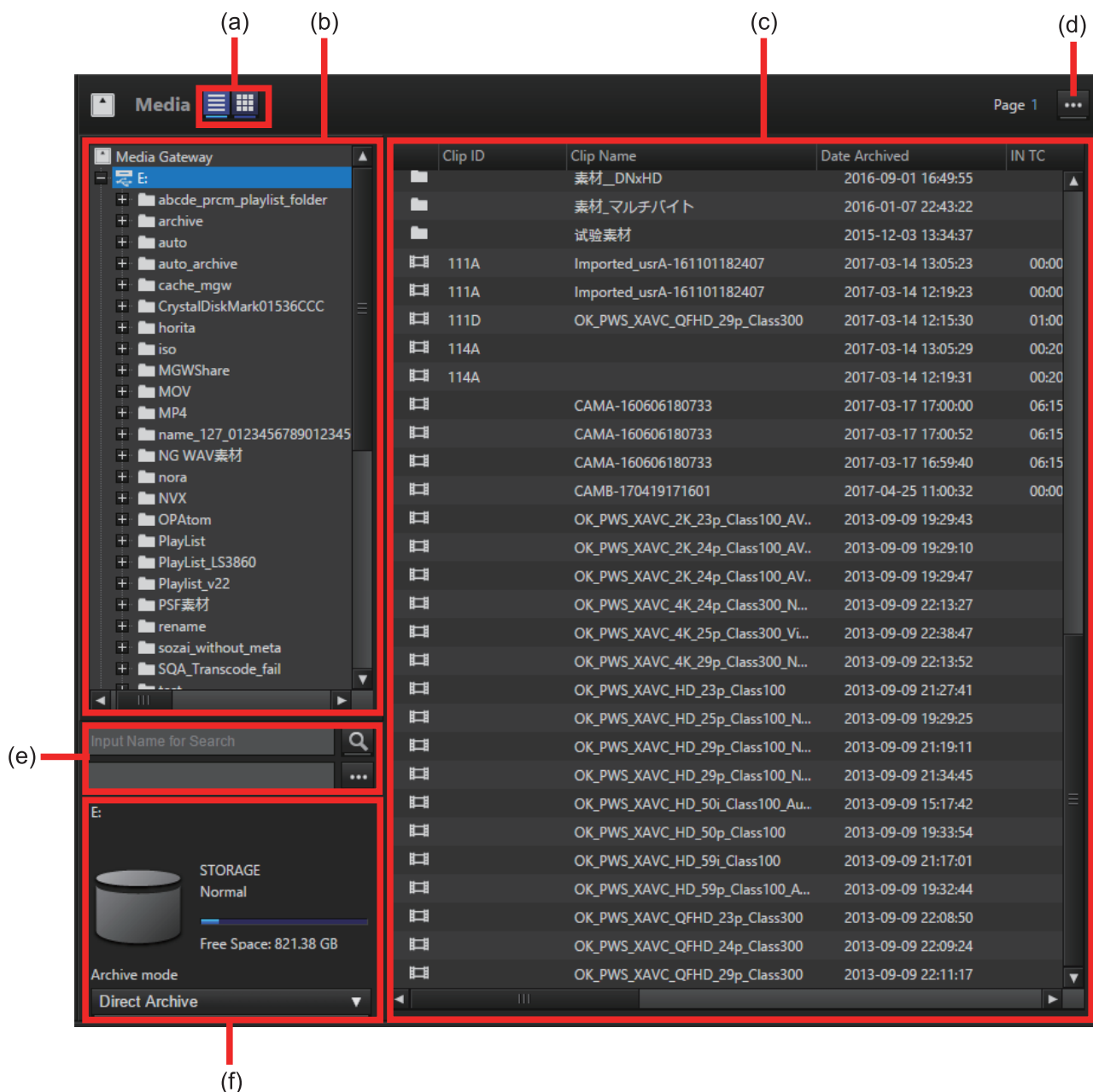
(リトリート) ボタン

メディアからサーバーにファイルをリトリートします。サーバーエリアで選択したリトリートモードでリトリートが行われます。

(4) メディアエリア

メディアおよびメディアにアーカイブされたファイル / フォルダの一覧を表示します。ファイルをダブルクリックすると、プレビューを表示することができます。なお、カートリッジ上のファイルはプレビューできません。

アーカイブ時には、ファイルの格納先を選択します。リトリブ時には、取り出すファイルを選択します。グローバルメニューで「External」を選択した場合は、このエリアに他社サーバー画面が表示されます。



(a) 表示切り換えボタン

リストエリアのリスト表示とタイル表示を切り換えます。

(b) ツリーエリア

メディアおよびメディア内のフォルダをツリー表示します。

ツリー表示のフォルダをクリックすると、そのフォルダ以下の表示が最新の状態に更新されます。

(c) リストエリア

メディア内のフォルダおよびファイル (MXF/MOV/MP4/XML/WAV/AAF) が一覧表示されます。MXF/MP4 ファイルをダブルクリックすると、Catalyst Browse が起動し、ファイルのプレビューを行うことができ

ます。WAV ファイルをダブルクリックした場合は、Windows Media Player でファイルが再生されます。なお、カートリッジ上のファイルは再生できません。

ご注意

- Catalyst Browse を使用する際は、Catalyst Browse の設定で「Video Processing Device」に「CPU」を設定してください。
- Catalyst Browse 起動中にプロフェッショナルディスクに対するアーカイブ/リトリートが始まった場合、Catalyst Browse は自動的に終了します。
- Catalyst Browse は簡易プレビュー用のソフトウェアであり、リアルタイム再生を保証するものではありません。

リストエリアには、次の内容が表示されます。

- Clip ID : 次の形式で付与された ID (Page 値 +Bank 値 +Clip No.+CameraID)
- File Name : ファイル名 (デフォルト : 非表示。#02# などの文字は、ハイフレームレート撮影の倍率を示す情報ですので、削除しないでください)
- Clip Name : クリップ名
- Rating : 評価 (デフォルト : 非表示)
- Keyword1 ~ Keyword5 : キーワード (デフォルト : 非表示)
- Memo : メモ (デフォルト : 非表示)
- Date Archived : クリップがアーカイブされた日時
- IN TC : イン点のタイムコード
- Duration
- Creation Date : クリップが作成された日時
- File Type : ファイルの拡張子 (MXF/MOV/MP4/XML/WAV/AAF)
- Video Resolution : ビデオの解像度
- Video Codec : ビデオコーデック
- Audio Codec : オーディオコーデック
- FPS (Frequency) : フレーム周波数
- Size : ファイルサイズ
- Colors : 色タグ (デフォルト : 非表示)
- アーカイブアイコン : アーカイブ状態
アイコン無し : アーカイブ済み (この場合のみリトリート可能)



: アーカイブ中



: アーカイブ中にエラー発生



: ファイルの状態をチェック中




: 複数のディスクにまたがって記録されたファイル



: Watched Folder からのリトリートで、リトリート時、または転送先フォルダーへの移動時にエラーとなったファイル

(d) プルダウンメニュー

をクリックすると、プルダウンメニューが表示されます。プルダウンメニューには、次のメニューがあります。

- Delete（削除）：選択したファイルまたはフォルダーを削除します。
- Rename：選択したファイルの名称を変更します。入力したファイル名の最初の 4 文字が Clip ID、5 文字目以降が Clip Name となります。NAS 以外のメディアのフォルダーの名称は変更できません。
- Mirror Mode Setting（ミラーモードの設定）：HDD ミラーモードの設定を行います。
- Open Placeholder（プレースホルダーを開く）：[Placeholder] ダイアログを開きます。プレースホルダーは、異なるメディアにあるファイルを一括してアーカイブする場合や、異なるフォルダーにあるファイルを一括してリトリブする場合に、一時的にファイルを保持する仮想フォルダーです。
- Create Folder（フォルダーの新規作成）：選択したメディアにフォルダーを作成します。
- Export Metadata（メタデータのエクスポート）：アーカイブしたファイルすべてのメタデータとサムネールの情報をエクスポートします。カートリッジの場合にのみ有効です。
- Remake Metadata（メタデータの復元）：エクスポートしたメタデータとサムネールを読み込んで、カートリッジの情報を復元します。
- Select Column（リスト表示項目の選択）：メディアエリアのリストエリアに表示する項目を選択します。
- Update List（リストの更新）：リストエリアの情報を再取得します。[Update List] 実行後、ツリー表示をクリックすると、リストエリアの表示が更新されます。

(e) 検索エリア




メディア内のファイルを検索します。フリーワードによる検索と、複数の検索キーを組み合わせた検索が可能です。

フリーワード検索

1. ツリーエリアで検索対象のメディアやフォルダーを選択する。
2. A に検索する文字列を入力する。


リストエリアに表示される項目すべてで検索できます。

IN TC、Duration は、完全一致で検索します。Clip ID、File Name、Clip Name、Keyword、Memo、Date Archived、Type、Video Codec、Audio Codec、Creation Date、Video Pixel、FPS は、部分一致で検索できます。サイズで検索する場合は、実際のファイルサイズと完全に一致する必要があります。キーワードをスペースで区切って複数入力すると、OR 検索ができます。

3.  ボタンをクリックする。

検索結果がリストエリアに表示されます。

検索キーを組み合わせた検索

1. ツリーエリアで検索対象のメディアやフォルダーを選択する。
2.  をクリックする。

[Media Search] ダイアログが表示されます。

3. ダイアログで検索条件を設定します。

文字列を直接入力可能な項目は、部分一致で検索されます。キーワードをスペースで区切って複数入力すると、OR 検索ができます。

4. [AND Search] ボタンまたは [OR Search] ボタンをクリックする。

設定した検索キーが B に表示され、検索結果がリストエリアに表示されます。

(f) メディア情報表示

選択したメディアの情報を表示し、アーカイブモードを選択します。次の内容を表示します。

- メディアの名称
- USB 接続のドライブの場合は、接続方式 (2.0、3.0、Unknown)
- メディアの状態 (NORMAL、READ ONLY、ERROR、CHECKING、FORMATTING、FINALIZING、EJECTING)
- メディアの種別 (InternalStorage、HDD、ODA、PD、SxS、Network Drive)
- メディアの空き領域 (バーでも表示されます)

ご注意

メディアの状態によっては、表示される容量と実際に使用できる容量が異なる場合があります。



(イジェクト) ボタン

メディアがカートリッジ、プロフェッショナルディスク、SxS メモリーカードの場合に、メディアを取り出します。SxS メモリーカードの場合は、アンマウントのみ行われます。メディアがカートリッジの場合、ODS ドライブのイジェクトボタンでカートリッジを取り出したときはサムネイルおよびメタ情報が保存されないのので、必ずこのボタンを使用してください。

Archive mode

選択したメディアにアーカイブする際のアーカイブモードを選択します。ダイレクトアーカイブ、キャッシュを使ったアーカイブ、トランスコード設定が選択できます。トランスコード設定は、設定画面の [Transcode] ページで行います。

(5) ジョブエリア

アーカイブ、リトリートなどのジョブが一覧表示されます。

一度の操作で複数のファイルやフォルダーをアーカイブ / リトリートした場合、1つのジョブグループとなります。ジョブグループ内で行われる1つのファイルの処理が、1つのジョブとなります。ジョブエリアにはジョブグループが表示され、ジョブグループの+マークをクリックすると、各ジョブが表示されます。

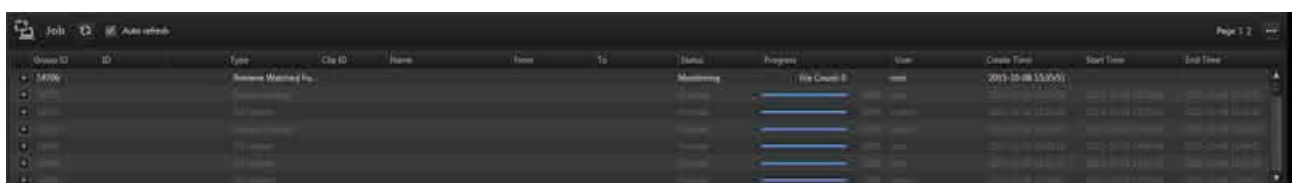
登録されたジョブは、バックグラウンドで実行されます。ジョブの実行順序は、登録順とは異なる場合があります。

ジョブが失敗した場合は、ジョブがハイライト表示されます。


ジョブリストでは、ジョブのキャンセルはできますが、実行順序を変更することはできません。



ボタンをクリックすると、表示を最新の状態に更新します。




プルダウンメニュー

をクリックすると、プルダウンメニューが表示されます。プルダウンメニューには、次のメニューがあります。

- Stop：選択したジョブまたはジョブグループの処理を中止する。


ご注意

次の場合は、ジョブを中止できません。

- 管理者権限を持つユーザーが登録したジョブを一般ユーザー権限のユーザーが中止しようとした場合
- 既にキャンセルリクエスト済み (マークが表示されている) ジョブの場合
- Display Job Report：ジョブが失敗または停止したときに、選択したジョブグループ内のジョブに対するレポートを表示する。
- Select Job Status：ジョブエリアに表示するジョブの状態を選択します。
- Select Column：ジョブエリアに表示する項目を選択します。

ジョブリスト

ジョブリストの表示内容は次のとおりです。

- Job Group ID
- Job ID
- ：中止リクエストを受け付けたジョブ
- Type：ジョブの種類
 - DIRECT ARCV：ダイレクトアーカイブ
 - CACHED ARCV：通常のアーカイブ
 - RETRIEVE：リトリート
 - TRANS ARCV：トランスコードアーカイブ
 - TRANS RTRV：トランスコードリトリート
 - ISO REC：サーバーで記録中のファイルの転送
 - DELETE：メディア内のファイルの削除
 - RENAME：ファイル名の変更
 - HOSTNAME：サーバー名の変更
 - REMAKE METADATA：メタデータの作成
 - RELOAD CATALOG：カタログの読み込み
 - EJECT CARTRIDGE：メディアのイジェクト
 - FORMAT：メディアのフォーマット
 - FINALIZE：メディアのファイナライズ
 - WRITE PROTECT ON：書き込み禁止の設定
 - WRITE PROTECT OFF：書き込み禁止の解除
 - DB UPDATE：メディア情報の読み出し
 - RETRIEVE WATCHED FOLDER：Watched Folder の監視とリトリート
 - SHUTDOWN (FAST)：スタンバイおよび実行中のジョブが終了後にサービスを終了する
 - SHUTDOWN (NORMAL)：すべてのジョブが終了後にサービスを終了する
- ClipID：クリップ ID
- Name：ファイル名

- From : アーカイブ元のサーバー名またはリトリート元のメディアのパス
- To : アーカイブ先のメディアのパスまたはリトリート先のサーバー名
- Status : ジョブの状態

ジョブの場合

- WAITING FOR REC MEDIA : アーカイブ先のメディアが挿入されるのを待っている。
- REGISTERED : ジョブが登録され、実行開始を待っている。
- STANDBY : ジョブが開始し、ファイルの読み書きを行おうとしている。
- PROCESSING : ファイルの読み書きを行っている。進捗状況が「進捗度」に表示される。
- FINISHED : ジョブが正常終了した。
- FAILED : ジョブが異常終了した。
- CANCELED : ジョブがユーザーの指示でキャンセルされた。

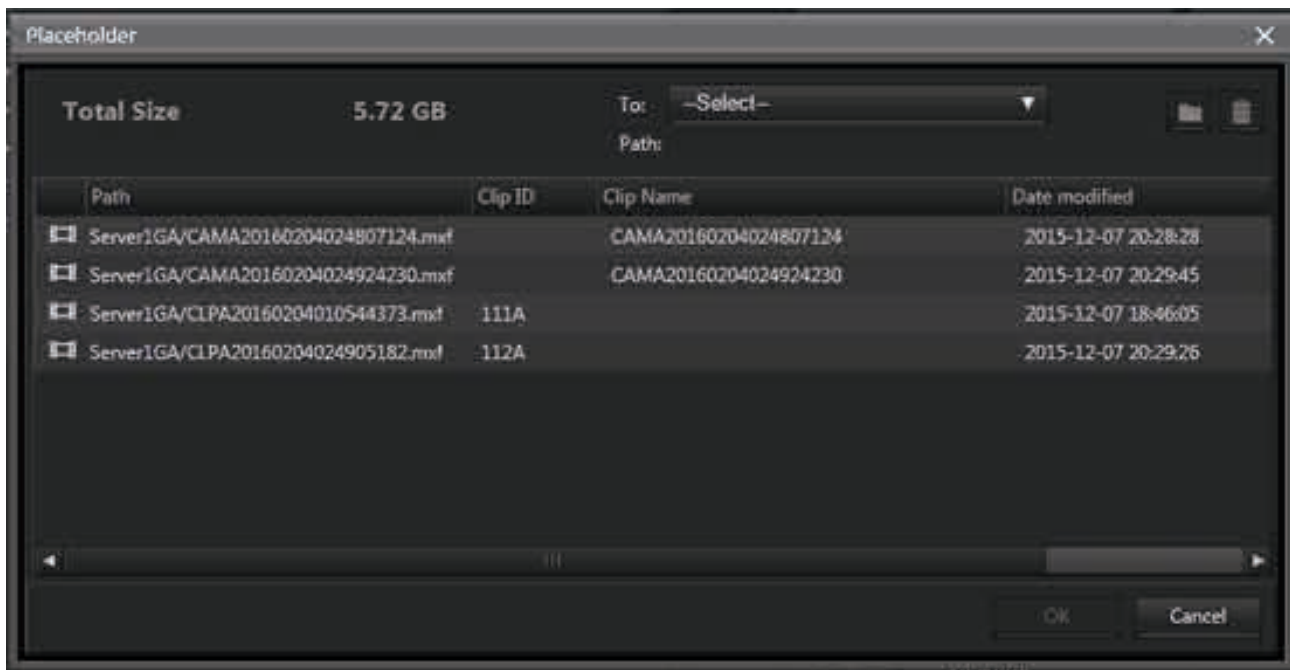
ジョブグループの場合

- PROCESSING : グループ内に実行中のジョブ (REGISTERD/STANDBY/PROCESSING) が含まれている。
- FINISHED : グループ内のすべてのジョブが「FINISHED」状態になっている。
- FAILED : グループ内のすべてのジョブが「FAILED」状態になっている。
- CANCELED : グループ内のすべてのジョブが「CANCELED」状態になっている。
- PARTIALLY FINISHED : グループ内のすべてのジョブが終了 (FINISHED/FAILED/CANCELED) しており、「FINISHED」状態のジョブがひとつ以上含まれている。
- MONITORING : RETRIEVE WATCHED FOLDER ジョブでフォルダーを監視している。
- Progress : アーカイブまたはリトリートの進捗状況と転送速度 (RETRIEVE WATCHED FOLDER ジョブの場合は、監視対象フォルダーにあるファイルの数を表示する)
- User : ジョブを登録したユーザーの ID
- Created Time : ジョブを作成した (リクエストした) 時刻
- Start Time : ジョブの開始時刻
- End Time : ジョブの終了時刻。() 付きの場合は、終了予定時刻。

Placeholder ダイアログ

プレースホルダーは、アーカイブ / リトリートするファイルを一時的に保持する仮想フォルダーです。プレースホルダーを使うことで、異なるフォルダーや異なるサーバーにあるファイルを一括してアーカイブ / リトリートすることができます。

[Placeholder] ダイアログは、プルダウンメニューから [Open Placeholder] を選択して表示します。



Total Size

プレースホルダーにあるファイルの総容量を表示します。

To:

アーカイブ時には転送先のメディアや他社サーバーを、リトリブ時には転送先のサーバーを設定 / 表示します。

Path:

メディアへのアーカイブ時に、転送先メディアのパスを設定 / 表示します。

パスを変更するには、 ボタンをクリックします。



ボタン

プレースホルダーで選択したファイルをプレースホルダーから削除します。

ファイルリスト

プレースホルダーにあるファイルのリストを表示します。

ダイアログを表示したときは、転送元のリストエリアで選択しているファイル（フォルダーを選択している場合はフォルダー）が表示されます。リストにファイルを追加する場合は、リストエリアからドラッグ & ドロップします。

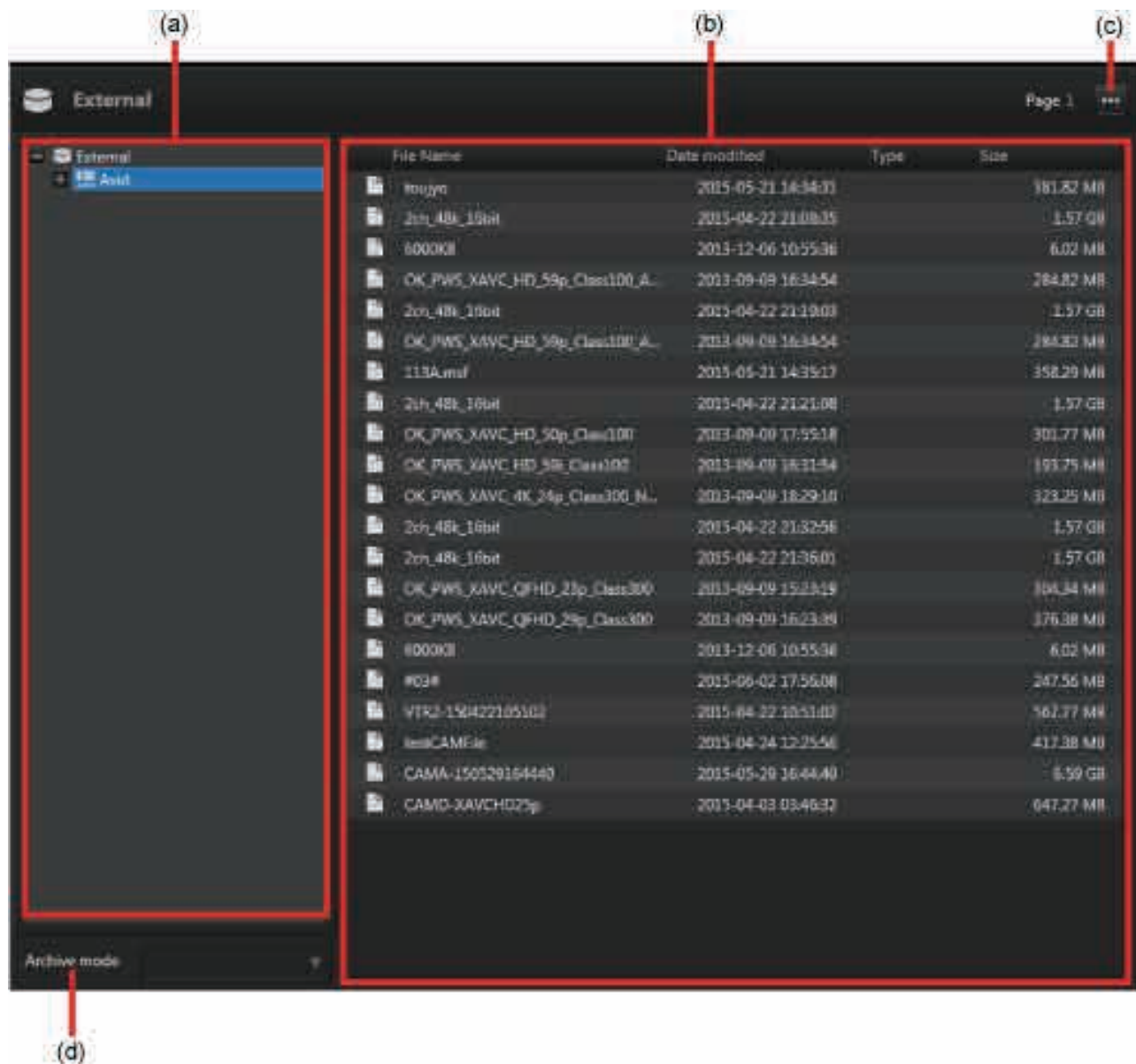
リストには、次の内容を表示します。

- Path : ファイルのフルパス
- Clip ID : 次の形式で付与された ID (Page 値 +Bank 値 +Clip No.+CameraID)
- Clip Name : クリップ名
- Date modified : 最終更新日時
- Type : ファイルの拡張子
- Size : ファイルのサイズ

他社サーバー画面

グローバルメニューで External をクリックした場合は、ホーム画面のメディアエリアに他社サーバーが表示されます。

アーカイブ時に、ファイルの格納先サーバーを選択します。



(a) ツリーエリア

設定画面の [External] ページで登録された他社サーバー名を表示します。

(b) リストエリア

他社サーバーが Avid の場合は、Avid サーバー内のファイルがリスト表示されます。ファイルリストには、次の内容が表示されます。

- File Name : ファイル名
- Date Modified : 最終更新日時
- Type : ファイルの拡張子
- Size : ファイルのサイズ

Avid 以外の場合は、ファイルリストは表示されませんが、アーカイブするファイルをここにドラッグ & ドロップできます。

(c) プルダウンメニュー

本バージョンでは使用しません。

(d) Archive mode

他社サーバーが Avid 以外の場合は、選択した他社サーバーにアーカイブする際のアーカイブモードを選択します。サーバーのフォーマットをそのまま送るアーカイブ、または他社サーバーのフォーマットに合わせたトランスコードが選択できます。Apple ProRes ファイルを転送する場合は、他社サーバーのフォーマットに合わせたトランスコードを選択してください。

Avid の場合は、この項目は表示されません。

設定画面

本セクションでは、本ソフトウェアの設定画面について、各部の機能と働きを説明しています。

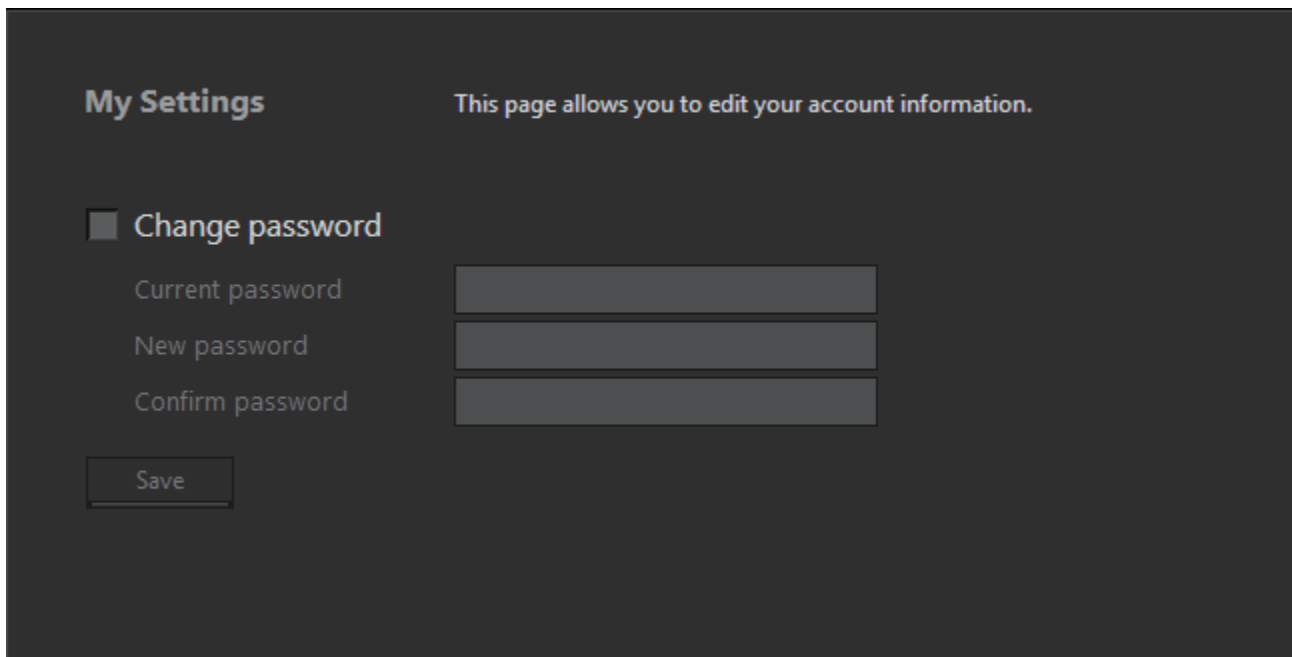
- My Settings ページ
- PRC Manager ページ
- Server ページ
- Media ページ
- External ページ
- Users ページ
- Maintenance ページ
- Transcode ページ
- Misc. ページ

My Settings ページ

ログインユーザーのパスワードを変更できます。

パスワードを変更した場合は、必ず [Save] ボタンをクリックしてください。

このページで設定した内容は、ユーザーごとに保存されます。



My Settings This page allows you to edit your account information.

☒ **Change password**

Current password

New password

Confirm password

Change password

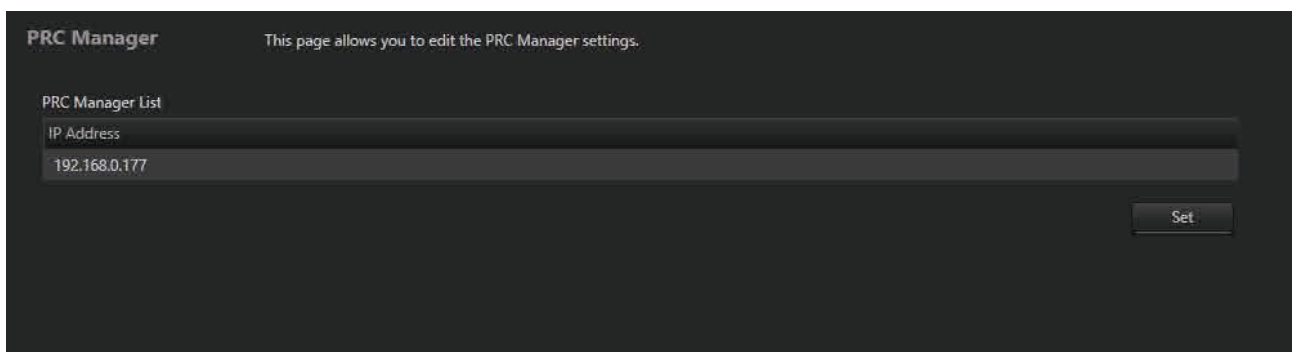
ログインユーザーのパスワードを変更します。チェックボックスにチェックを入れ、現在のパスワードと新しいパスワードを入力します。

パスワードには、8 ～ 64 文字の半角英数字および "-" (ハイフン)、"_" (アンダーバー) が使用できます。大文字、小文字を区別します。

PRC Manager ページ

PRC Manager の設定を変更します。

このページは、管理者権限を持つユーザーのみ表示できます。



PRC Manager This page allows you to edit the PRC Manager settings.

PRC Manager List

IP Address	192.168.0.177
------------	---------------

PRC Manager List

PRC Manager の IP アドレスが表示されます。

PRC Manager の設定を行うには

1. [Set] ボタンをクリックする。
2. [New PRC Manager] ダイアログで PRC Manager の情報を入力する。
 - IP Address : IP アドレスを入力します。
 - Port : PRC Manager と通信するポート番号を入力します。デフォルトでは、51000 が使用されます。環境に合わせて設定してください。
3. [OK] ボタンをクリックする。

Server ページ

サーバー（PWS-4500/BPU4800）の設定を行います。

管理者権限を持つユーザーは、このページの設定項目がすべて設定できます。一般ユーザーは、[Server List] の設定ができません。

Server

This page allows you to edit the server settings.

Server List

Auto refresh

Server Name	IP Address	Status	Location	Free Space
PWS-4500	192.168.0.40	CONNECTED	10G	578.0 GB
BPU4800	192.168.0.53	CONNECTED	10G	3.5 TB

Set

BPU4800 Transcode

HFR-Data

XAVC

Save

Clip ID Setting

When Clip already has Clip ID	Page	Bank	Camera
Inherit the Clip ID	1,2,3,4,5,6,7,8,9,0	1,2,3,4,5,6,7,8,9	A,B,C,D,E,F

Set

ISO REC Setting

Event	Action	REC Media Type	REC Path	Overlap
Storage is full.	Spanning REC: ON	USB-HDD		1

Set

Auto Archive

Server	Filters	REC Path
--------	---------	----------

Server List

PRC Manager が管理するサーバーの一覧が表示されます。リストには、次の内容が表示されます。

- Server Name : サーバー名
- IP Address : IP アドレス（デフォルトでは、サーバーの 10 ギガビットイーサネットの IP アドレスが表示されます）
- Status : サーバーの状態
- Location : 10 ギガビットイーサネットまたは 1 ギガビットイーサネットのどちらを使用するか
- Free Space : サーバーの残容量

サーバーの設定を変更するには

1. リストでサーバーを選択し、[Set] ボタンをクリックする。
[Server Settings] ダイアログが表示されます。
2. サーバーの情報を編集する。
次の情報を設定できます。
 - サーバー名

- IP アドレス
- リトリブモード（通常リトリブまたはトランスコード）

3. [OK] ボタンをクリックする。

サーバーの情報が変更されます。

ご注意

- サーバーの設定情報は内部データベースで管理されています。設定できるサーバーの数には制限があり、上限に達した場合は、グローバルメニューの設定アイコン上にエラーのマークが表示されます。その場合は、スタート画面から「Config Tool」を起動してください。古いサーバー情報が削除され、データベースが初期化されます。
- PRC Manager のバージョンが古い場合、グローバルメニューの設定アイコン上にエラーマークが表示されます。その場合は、ヘルプメニューで Media Gateway のバージョンを確認し、PRC Manager のバージョンを Media Gateway と合わせてください。

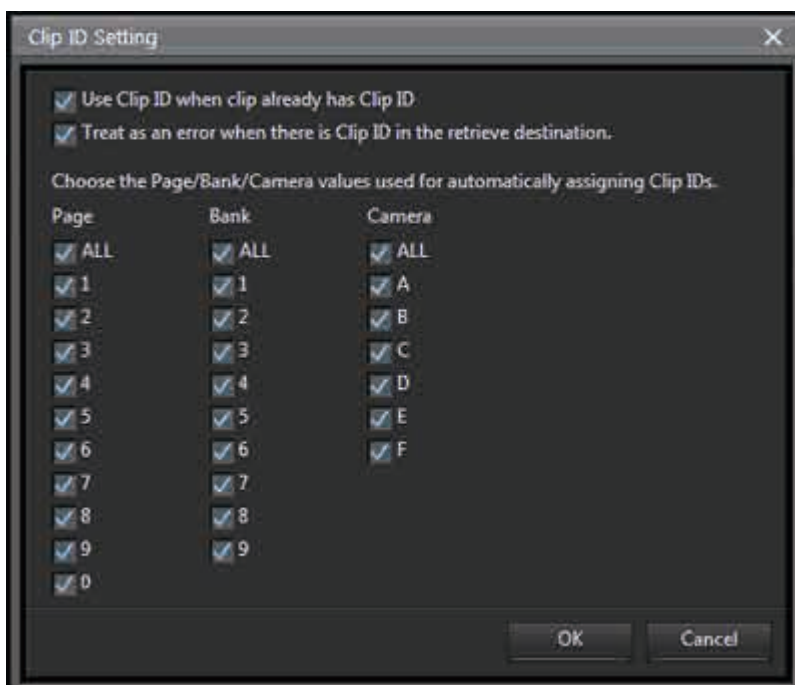
BPU4800 Transcode

BPU4800 からアーカイブする場合のデータフォーマットを選択します。設定を変更した場合は、[Save] ボタンをクリックしてください。

Clip ID Setting

メディアからサーバーへファイルをリトリブする際のクリップ ID の設定ルールを表示します。クリップ ID の設定は、次の手順で行います。

1. [Set] ボタンをクリックする。
[Clip ID Setting] ダイアログが表示されます。
2. ダイアログで ID 設定ルールを選択する。



- Use Clip ID when clip already has Clip ID : リトリブするクリップにクリップ ID が設定されている場合の処理を選択します。オンにすると、設定済みのクリップ ID を使用してリトリブします。オフにすると、このダイアログの設定に基づいてクリップ ID を割り当てます。

- Treat as an error when there is Clip ID in the retrieve destination : クリップ ID に空きがない場合にエラーとすることが設定します。オンにすると、空いている ID がない場合はエラーになり、リトリーブできません。オフにした場合は、このダイアログで設定した Page 値、Bank 値、Camera ID に基づいてクリップ ID を設定します。
- Page : クリップ ID に割り当て可能な Page 値を選択します。
- Bank : クリップ ID に割り当て可能な Bank 値を選択します。
- Camera : クリップ ID に割り当て可能な Camera ID を選択します。

3. [OK] ボタンをクリックする。

ご注意

BPU4800 で CAM で始まるファイルをアーカイブする場合、自動的にサブクリップが作成されます。サブクリップ作成時に使用されるクリップ ID は、ここで設定するルールに従って割り当てられます。

ISO REC Setting

ISO REC の実行中にメディアがいっぱいになった場合の動作を設定します。設定は次の手順で行います。

1. [Set] ボタンをクリックする。
[ISO REC Setting] ダイアログが表示されます。
2. [Spanning REC] をチェックする。
メディアがいっぱいになった場合に記録を終了したい場合は、チェックを外します。チェックを外すと、この後の設定項目は選択できません。
3. [Recording REC Media type] で、メディアがいっぱいになった場合に記録を行うメディアを選択する。
内部ストレージ、USB HDD、ネットワークドライブ、SxS、カートリッジが選択できます。複数選択した場合は、空き領域が最も大きいメディアに記録されます。
4. メディアに ISO REC をする場合の最大セッション数を [Max. number of sessions in REC media] に設定する。
ISO REC のセッション数が増えると、メディアへの転送速度が低下します。
5. [Path] に記録を行うパスを入力する。
6. [Overlap] に代替メディアへの記録開始時にオーバーラップする秒数を指定する。
7. [OK] ボタンをクリックする。

ご注意

MXF ファイルは 24 時間、MOV ファイルは 8 時間を超えて ISO REC を行った場合、ファイルが自動的に分割されます。また、キャッシュを使用した転送の場合、キャッシュ領域が足りなくなると、ファイルが自動的に分割されます。自動的に分割する際のオーバーラップ時間は、[Overlap] に設定した秒数が適用されます。

Auto Archive

オートアーカイブを行うファイルの条件を設定します。

条件を追加するには

1. [Add] ボタンをクリックする。
2. [Auto Archive Setting] ダイアログでファイルの条件を設定する。

Server

監視対象サーバーを指定します。

Filter

監視条件を指定します。

- Date & Time：ファイルの作成日時をアーカイブの条件として指定します。
- ClipID：クリップ ID が条件として指定します。
- Clip Name：クリップ名に含まれるキーワードを条件として指定します。
- REC Status：記録中のクリップをアーカイブします。

ご注意

ClipID と REC Status は、同時には設定できません。

Path

[Browse] ボタンをクリックして、転送先のフォルダーを指定します。

3. [OK] ボタンをクリックする。

ご注意

オートアーカイブの設定内容によっては、リトリブしたクリップが再びアーカイブされるなどの動作をすることがあります。このような場合は、オートアーカイブの監視条件を見直してください。

監視条件を変更するには

1. リストで監視条件を選択し、[Edit] ボタンをクリックする。
2. 監視条件を編集し、[OK] ボタンをクリックする。

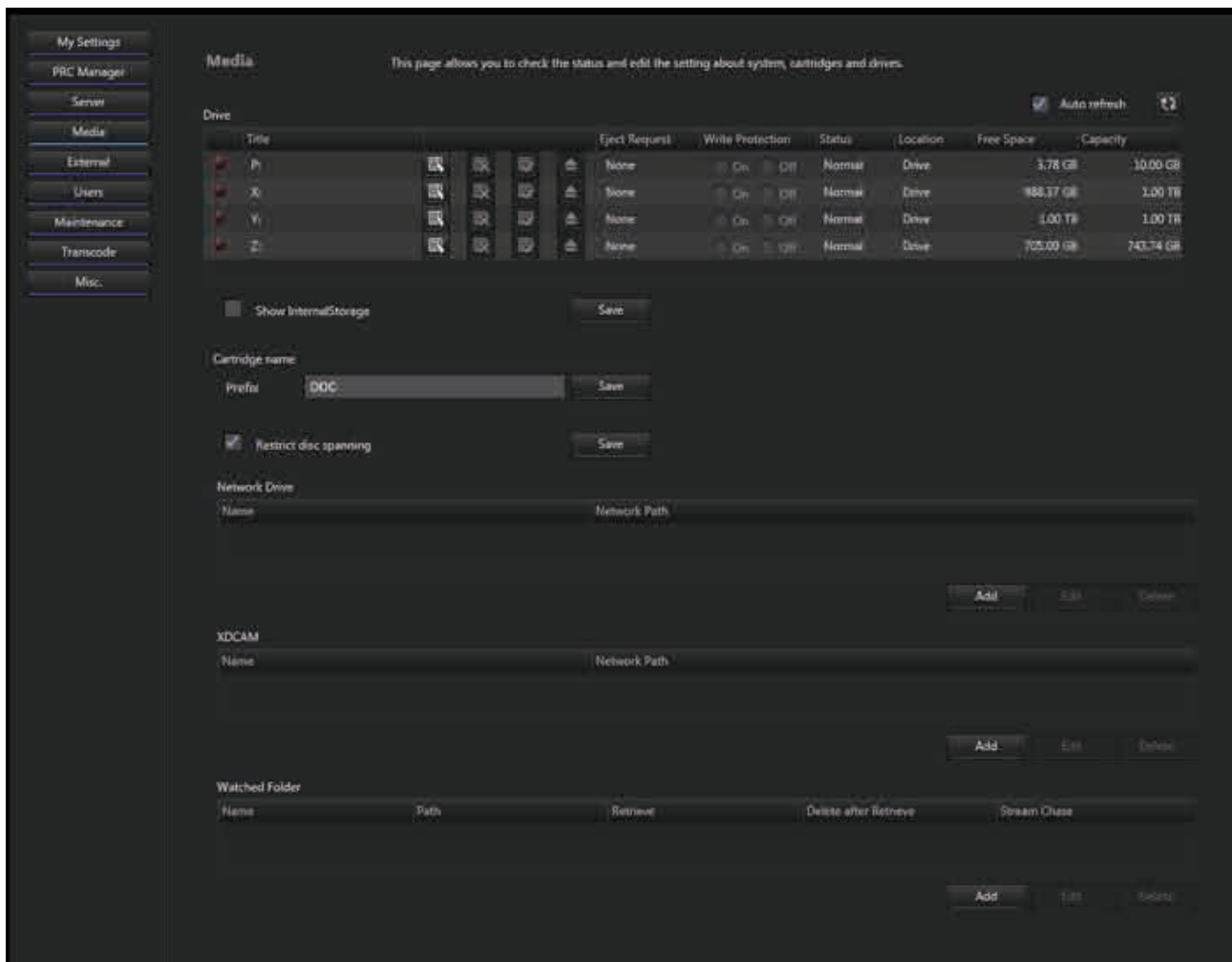
監視条件を削除するには

1. リストで監視条件を選択し、[Delete] ボタンをクリックする。
2. 確認ダイアログで [OK] をクリックする。

Media ページ





メディアの状態を表示します。

管理者権限を持つユーザーは、このページの設定項目がすべて表示できます。一般ユーザーは、[Drive]、[Cartridge name]、[Restrict Disc Spanning] が表示されます。



Drive

メディアの状態を表示し、各メディアに対する操作を行います。

- ランプ：イジェクトランプの状態を表示します。
- Title：メディアの名称を表示します。
-  ボタン: [Media Information] ダイアログを表示し、メディアの詳細情報を表示します。カートリッジの名称の変更とアーカイブモードの選択（ダイレクトアーカイブ、キャッシュを使ったアーカイブ、トランスコード）ができます。
-  ボタン: メディアをフォーマットします。このボタンは、カートリッジまたはプロフェッショナルディスクの場合に有効です。それ以外の場合は選択できません。
-  ボタン：メディアをファイナライズします。このボタンは、ライトワンス型のカートリッジまたはライトワンス型のプロフェッショナルディスクの場合に有効です。それ以外の場合は選択できません。
-  ボタン：メディアをイジェクトします。メディアに対してアーカイブ / リトリブのクエストがある場合は、警告メッセージが表示されます。
このボタンは、カートリッジ、SxS メモリーカード、またはプロフェッショナルディスクの場合に有効です。それ以外の場合は選択できません。

- Eject Request：イジェクト処理の実行状態を表示します。
 - NONE：イジェクト処理を行っていない。
 - EJECT REQUESTED：イジェクトボタンがクリックされ、イジェクト処理中。
- Write Protection：ライトプロテクトのオン/オフを切り換えます。オフになっていても、メディアのライトプロテクトスイッチが書き込み禁止になっている場合は、書き込めません。
- Status：メディアの状態を表示します。
 - Normal：通常状態。
 - Read Only：リトリートとプレビューのみ可能。
 - Error：異常状態。フォーマットとイジェクトのみ可能。

ご注意

エラーの場合、フォーマットしても正常状態に戻らないことがあります。

- Checking：メディアの状態をチェック中
- Formatting：フォーマット処理中
- Finalizing：ファイナライズ処理中
- Location：メディアのある場所を表示します。（本ソフトウェアでは常に Drive が表示されます）
- Free Space：空き容量を表示します。
- Capacity：総容量を表示します。

Show Internal Storage

チェックすると、内蔵ストレージがホーム画面のメディアエリアに表示され、アーカイブ/リトリート時に選択できるようになります。

ご注意

内蔵ストレージを保存先として使用すると、キャッシュ動作を使ったアーカイブ/リトリートの最大容量に影響があります。内蔵ストレージは、一時的な保存先として使用してください。

Cartridge name

新しいカートリッジが登録されたときにカートリッジの名称の先頭に付ける文字列を指定します。カートリッジの名称は、「指定した文字列+連番」になります。

Restrict Disc Spanning

チェックすると、アーカイブするファイルがカートリッジ内の複数のディスクにまたがって保存されることが少なくなるように制御します。

Network Drive

ネットワークドライブの一覧を表示します。

ネットワークドライブを追加するには

1. [Add] ボタンをクリックする。
2. [Network Drive Setting] ダイアログで、ドライブの情報を入力する。
 - 名前
 - 物理パス
 - ネットワークドライブにログインする際のユーザー名とパスワード
 - アーカイブモード（ダイレクトアーカイブ、キャッシュを使ったアーカイブ、トランスコード設定）

- メタデータファイルおよびサムネイル画像ファイルを作成するかどうか
- 転送中素材を共有読み取り可能にするかどうか（オンにすると、外部の編集機器が転送中の素材にアクセス可能になります）

3. [OK] ボタンをクリックする。

XDCAM

XDCAM 機器の一覧を表示します。

XDCAM 機器は、CIFS アクセスが可能な下記の機種が対象となります。

- XDS-1000
- XDS-PD1000
- XDS-PD2000
- PMW-1000
- PDW-HD1550

XDCAM 機器を追加するには

1. [Add] ボタンをクリックする。
2. [XDCAM Setting] ダイアログで、ドライブの情報を入力する。
 - 名前
 - 物理パス
 - XDCAM 機器にログインする際のユーザー名とパスワード
 - アーカイブモード（ダイレクトアーカイブ、キャッシュを使ったアーカイブ、トランスコード設定）
3. [OK] ボタンをクリックする。

ご注意

SxS メモリーカードをサポートしている機器での、ファイルシステムごとのサポートフォーマットは下記の通りです。これ以外のフォーマットは再生できません。

exFAT

アーカイブ / リトリート可能

- XAVC C100 Intra FullHD 23.98p/25p/29.97p/50i/59.94i
- XAVC C100 Intra HD720 50p/59.94p

トランスコードによりアーカイブ / リトリート可能

- XDCAM MPEG2 FullHD 23.98p/25p/29.97p/50i/59.94i
- XDCAM MPEG2 HD720 50p/59p

UDF

トランスコードによりアーカイブ / リトリート可能

- XDCAM MPEG2 FullHD 23.98p/25p/29.97p/50i/59.94i
- XDCAM MPEG2 HD720 50p/59p

FAT32

なし

Watched Folder

Watched Folder の一覧を表示します。

Watched Folder を追加するには

1. [Add] ボタンをクリックする。
2. [Watched Folder Settings] ダイアログで、Watched Folder の情報を入力する。
 - Name : Watched Folder の名前（ホーム画面の Watched Folder 表示エリアに表示される名前）を入力します。
 - Path : [Browse] ボタンをクリックして、Watched Folder の物理パスを設定します。
 - Retrieve : リトリブ先のサーバーを選択します。
 - Delete after retrieval : リトリブ完了後、ファイルを削除する場合に選択します。
 - Enable Stream Chase : Watched Folder にファイルをコピー中にリトリブを開始する（追いかけてリトリブ）場合に選択します。[Margin of the termination] は、ファイルがネットワーク経由で Watched Folder に書き込まれる場合に、ファイル終端の判定をネットワークの特性に合わせるものです。通常はデフォルトのままで使用します。

ご注意

ネットワークドライブの OS が Windows の場合などは、追いかけてリトリブができないことがあります。

3. [OK] ボタンをクリックする。

External ページ

他社システムのサーバーを追加・変更します。

このページは、管理者権限を持つユーザーのみ表示できます。

External This page allows you to edit the external settings.

Avid Interplay Web Service

Name	IP Address	Port	Logical Path	Physical Path
Avid	192.168.0.91	8008	/AvidWG/Incoming Media/Ingest/Sony1	\\SIS5k\workspace1\Avid MediaFiles\MXF

Other Server

Server Name	IP Address
server	192.168.0.92

Other Gateway Setting

Other Gateway IP Address	Media Gateway IP Address
192.168.0.93	192.168.0.177

Clip ID Setting

Clip Location
[1;2;3;4;5;6;7;8;9;0]?

Avid Interplay Web Service

登録された Avid サーバーの一覧が表示されます。

Avid サーバーを追加するには

1. [Add] ボタンをクリックする。
[New Avid Server] ダイアログが表示されます。
2. サーバーの情報を入力する。
下記の情報を設定します。
 - Name : Avid サーバーの名前を入力する。
 - IP Address : Interplay Web Service の IP アドレスを入力する。
 - Port : Interplay Web Service のポート番号を入力する。
 - User Name : Interplay Web Service のログインアカウントを入力する。
 - Password : Interplay Web Service のパスワードを入力する。
 - Logical Path : Interplay Web Service でファイルを格納したサーバーを参照するための論理パス
 - Physical Path : MXF ファイルを格納するサーバーの物理パス
 - User Name : ファイルを格納するサーバーのログインアカウントを入力する。
 - Password : ファイルを格納するサーバーのパスワードを入力する。

3. [OK] ボタンをクリックする。

Avid サーバーが登録され、ホーム画面の他社サーバーエリアに表示されます。

登録済み Avid サーバーの情報を変更するには

1. リストでサーバーを選択し、[Edit] ボタンをクリックする。
[Edit Avid Server] ダイアログが表示されます。
2. サーバーの情報を編集し、[OK] ボタンをクリックする。

登録済み Avid サーバーを削除するには

1. リストでサーバーを選択し、[Delete] ボタンをクリックする。
2. 確認ダイアログで [OK] をクリックする。

Other Server

登録された他社サーバーの一覧が表示されます。サーバーの名前と IP アドレスが表示されます。

他社サーバーを追加するには

1. [Add] ボタンをクリックする。
[New Other Server] ダイアログが表示されます。
2. サーバーの情報を入力する。
下記の情報を設定します。
 - Server Name : 他社サーバーの名前を入力する。
 - IP Address : 他社サーバーの IP アドレスを入力する。
 - User Name : 他社サーバーのログインアカウントを入力する。
 - Password : 他社サーバーのパスワードを入力する。
 - Archive mode : 他社サーバーへのアーカイブ時にトランスコードを行う場合は「SameAsDest」を、行わないときは「SameAsSource」を選択する。
3. [OK] ボタンをクリックする。
他社サーバーが登録され、ホーム画面の他社サーバーエリアに表示されます。

登録済み他社サーバーの情報を変更するには

1. リストでサーバーを選択し、[Edit] ボタンをクリックする。
[Edit Other Server] ダイアログが表示されます。
2. サーバーの情報を編集し、[OK] ボタンをクリックする。

登録済み他社サーバーを削除するには

1. リストでサーバーを選択し、[Delete] ボタンをクリックする。
2. 確認ダイアログで [OK] をクリックする。

Other Gateway Setting

他社サーバーを使用する際に、そのゲートウェイ端末の IP アドレスを表示します。

ゲートウェイ端末を設定するには

1. [Set] ボタンをクリックする。
[Other Gateway Setting] ダイアログが表示されます。
2. ゲートウェイ端末の情報を入力する。
下記の情報を設定します。
 - Server Name : Other Gateway が表示されます。
 - IP Address : ゲートウェイ端末の IP アドレスを入力する。

- User Name : ゲートウェイ端末のログインアカウントを入力する。
- Password : ゲートウェイ端末のパスワードを入力する。
- Media Gateway IP Address : Media Gateway がインストールされているコンピュータの IP アドレスを入力する。

3. [OK] ボタンをクリックする。

Clip ID Setting

他社サーバーへファイルをアーカイブする際のクリップ ID の設定ルールを表示します。クリップ ID の設定は、次の手順で行います。

1. [Set] ボタンをクリックする。
[Clip Location Setting] ダイアログが表示されます。
2. [Clip Location] に設定するルールの名前を入力し、[...] ボタンをクリックする。
[Clip ID Setting] ダイアログが表示されます。
3. ダイアログで ID 設定ルールを選択する。



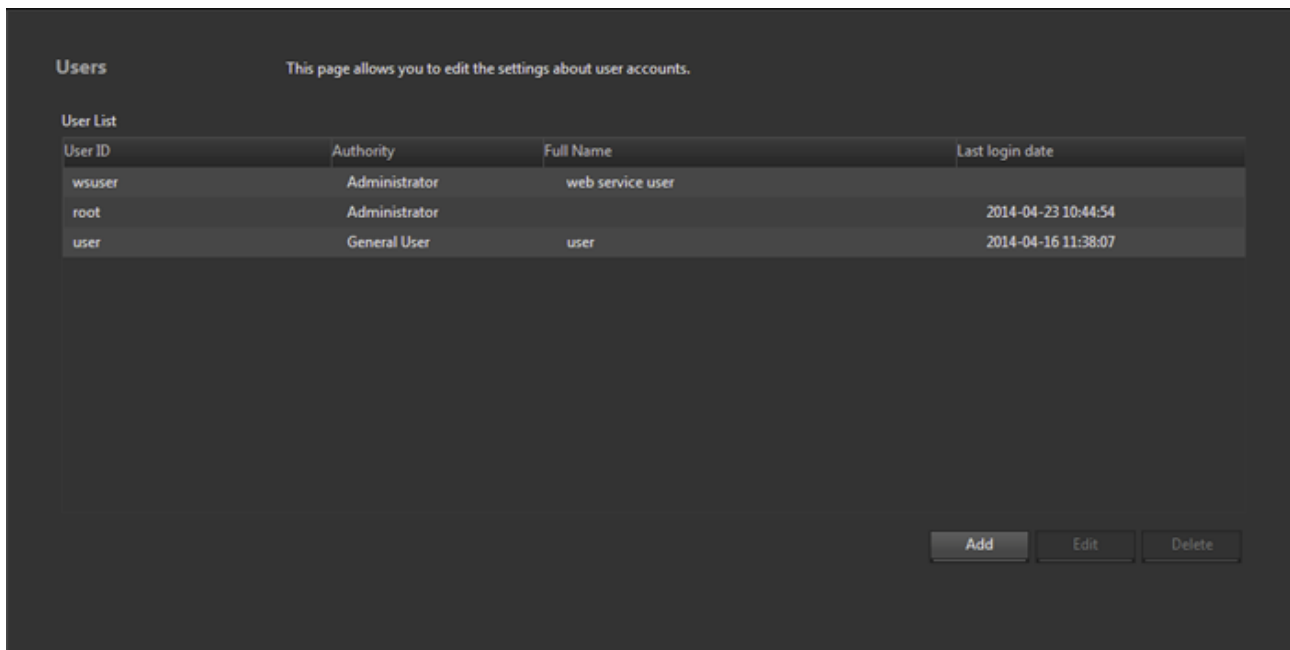
- Page : クリップ ID に割り当て可能な Page 値を選択します。
- Bank : クリップ ID に割り当て可能な Bank 値を選択します。
- Position : クリップ ID に割り当て可能な Position 値を選択します。
- Camera : クリップ ID に割り当て可能な Camera ID を選択します。

4. [OK] ボタンをクリックする。

Users ページ

本ソフトウェアのユーザーアカウントを管理します。

このページは、管理者権限を持つユーザーのみ表示できます。



User List

ユーザーの一覧を表示します。ユーザー ID、権限、フルネーム、最終ログイン日を表示します。

ユーザーを追加するには

1. [Add] ボタンをクリックする。
2. [New Account] ダイアログで、新規ユーザーの情報を入力する。
 - ユーザー ID
 - 権限：Administrator/General User
 - フルネーム
3. [OK] ボタンをクリックする。
ユーザーアカウントが新規に作成されます。

ユーザー情報を編集するには

登録済みユーザーの権限を変更できます。

1. ユーザーリストでユーザーを選択して、[Edit] ボタンをクリックする。
2. [Edit Account] ダイアログで、ユーザー権限 (Administrator/General User) を選択する。
3. [OK] ボタンをクリックする。

ご注意

ログイン中のユーザーの場合、一部の項目は変更できません。

ユーザーを削除するには

ユーザーを選択して、[Delete] ボタンをクリックします。

Maintenance ページ

本ソフトウェアのメンテナンスについての設定を行います。
このページは、管理者権限を持つユーザーのみ表示できます。

Maintenance This page allows you to edit the setting about maintenance of the database.

Service Termination & Start

☒ Terminate service after all jobs are finished
☐ Terminate service after "Stand-by & Processing" jobs are finished

Status ☒ Auto refresh

Service Request Status	System Status	Waiting & Running Jobs	Running Jobs
No Requests	Working	0	0

Backup/Restore of the database

Backup DB on Schedule ☒ Auto refresh

Start Time	Day of Week	Output Folder	Max Preserved Files
00:00:00	Mon,Tue,Wed,Thur,Fri	C:/ProgramData/Sony/Media Gateway/DBBackup	10

Last Backup Date & Time	Output File	Message
2014-09-17 09:24:11	MediaGateway_Version 1.2 (1.2.0.43)_20140917092411.zip	

DB Restore

Backup File	Message

Cleanup DB

Start Time (Daily)	Cleanup DB(Days before)	Last Cleanup Date & Time
00:00:00	5	2014-09-17 09:24:29

Log Collection

Date Period From *
 Date Period To *

Service Termination & Start

本ソフトウェアのサービスを終了または起動します。サービスを終了する場合は、キューにあるすべてのジョブが終了してからサービスを終了するか、スタンバイおよび実行中のジョブが終了したときにサービスを終了するかを選択できます。

サービスを停止するには

1. [Status] の [System Status] 欄に「Working」と表示されていることを確認する。
2. [Terminate service after all jobs are finished]、[Terminate service after "Stand-by & Processing" jobs are finished] のどちらかを選択する。
3. [Terminate] ボタンをクリックする。

サービスが停止すると、[Status] の [System Status] 欄の表示が「Stand-by」に変わります。

サービスを起動するには

1. [Status] の [System Status] 欄に「Stand-by」と表示されていることを確認する。
2. [Start] ボタンをクリックする。(サービスが終了しているときは [Terminate] ボタンが [Start] に変わります)

サービスが起動すると、[Status] の [System Status] 欄の表示が「Working」に変わります。

サービスの終了をキャンセルするには、[Cancel] ボタンをクリックします。

Status

サービスの状態を表示します。

- Service Request Status：サービスに対するリクエストの状況を表示します。
- System Status：システムの実行状態を表示します。
 - Working：正常動作中
 - Standby：スタンバイ中
 - Failed：エラーが発生していて、動作していない
 - Not Ready：動作していない
- Waiting & Running Jobs：キューに登録されているジョブと実行中のジョブの数を表示します。
- Running Jobs：実行中のジョブの数を表示します。

Backup/Restore of the database

データベースのバックアップとリストアを行います。

バックアップの実行方法は、スケジュールを指定した定期的なバックアップと、[Manual Backup] ボタンをクリックしての即時バックアップがあります。

Backup DB On Schedule

設定済みのバックアップスケジュールを表示します。バックアップのスケジュールを設定するには、次の手順を行います。

1. [Set] ボタンをクリックする。

[Set DB Backup Schedule] ダイアログが表示されます。

2. ダイアログでスケジュールを設定し、[OK] ボタンをクリックする。

- Start Time：バックアップを開始する時刻を指定します。
- Day Of Week：バックアップを行う曜日を指定します（複数選択可）。
- Output Folder：出力フォルダーを選択します。出力先は、内蔵ストレージ、USB HDD、ネットワークドライブが指定できます。
- Max Preserved Files：過去のバックアップファイルを最大いくつまで保存しておくかを指定します。

スケジュールを削除するには、[Delete] ボタンをクリックします。

バックアップ状態表示

前回実行したバックアップの情報を表示します。

- Last Backup Date & Time（前回のバックアップの日付と時刻）
- Output File（出力ファイル）
- Message（メッセージ）

[Manual Backup] ボタン

バックアップを即時実行します。

DB Restore

前回実行したデータベースの復元の情報を表示します。

- Backup File
- Message

[Restore] ボタン

データベースを復元します。[Restore] ダイアログで復元するバックアップファイルを選択して、[OK] をクリックします。

Cleanup DB

処理が完了したジョブを削除するスケジュールを表示します。

- Start Time : 完了ジョブの削除を開始する時刻を表示します。
- Cleanup DB : 何日前までのデータをクリーンアップするかを表示します。
- Last Cleanup Date & Time : 前回クリーンアップを行った日時を表示します。

[Manual Cleanup] ボタンをクリックすると、設定したスケジュールに関係なく、クリーンアップを即時実行します。

完了ジョブを削除するスケジュールを設定するには、[Set] ボタンをクリックしてダイアログを表示し、削除開始の時刻を設定します。

スケジュールを削除するには、[Delete] ボタンをクリックします。

Log Collection

Media Gateway のログをコンピュータに保存します。

保存するログの開始日と終了日を指定して、[Output] ボタンをクリックします。Web ブラウザーに Chrome を使用している場合、ログは C:\Users\ (ログインユーザー名) \Download に保存されます。

Transcode ページ

アーカイブ / リトリブ時にトランスコードを行う場合の設定を行います。

Transcode This page allows you to format settings for MXF transcode.

WAV to MXF Conversion

Video Codec	Resolution	FPS
XAVC Intra 100 - Intra 100 MXF OP1a SMPTE	FullHD(1920x1080)	25p

Set

Video Transcode

Video Codec	Resolution	FPS	Server Type
AVC/AAC - AVC/AAC (*.mp4)	FullHD(1920x1080)	25p	
Avid DNxHD 220x - 220x MXF OP1a SMPTE	FullHD(1920x1080)	25p	PWS-4500
Avid DNxHD 220x - 220x MXF OP1a SMPTE	FullHD(1920x1080)	29.97p	PWS-4500
Avid DNxHD 45 - 45 MXF OP1a SMPTE	FullHD(1920x1080)	50p	PWS-4500
XAVC Intra 100 - Intra 100 MXF OP1a SMPTE	FullHD(1920x1080)	23.976p	PWS-4500
XAVC Long - Long MXF OP1a SMPTE	FullHD(1920x1080)	29.97p	
XAVC S - Long (*.mp4)	FullHD(1920x1080)	25p	
XDCAM MPEG2 - XDCAM MPEG2 HD 50Mbps MXF	FullHD(1920x1080)	23.976p	

Add Edit Delete

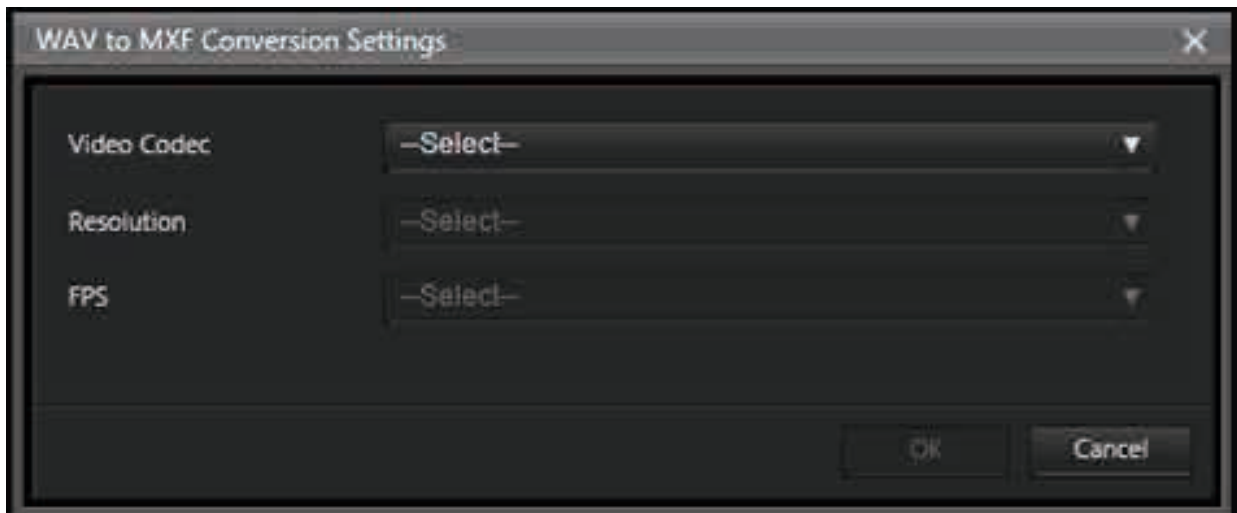
WAV to MXF Conversion

WAV フォーマットから MXF フォーマットに変換する際の設定が表示されます。設定は、次の手順で行います。

1. [Set] ボタンをクリックする。

[WAV to MXF Conversion Settings] ダイアログが表示されます。

2. ダイアログで変換の設定をする。



○ Video Codec : ビデオコーデックを選択します。次のコーデックが選択できます。

- XAVC Intra 480
- XAVC Intra 300
- XAVC Intra 100
- DNxHD 220x
- DNxHD 145
- DNxHD 45

○ Resolution : 画面解像度を選択します。

○ Fps : フレーム周波数を選択します。

3. [OK] ボタンをクリックする。

Video Transcode

ビデオをトランスコードする際の設定が表示されます。設定を新規に作成する場合は [Add] ボタンを、既存の設定を変更する場合は [Edit] ボタンをクリックして、[Video Transcode Settings] ダイアログを表示させます。

ダイアログでは、下記の項目が選択できます。

ビデオコーデック

- XAVC Intra 480 - Intra 480 MXF OP1a SMPTE
- XAVC Intra 300 - Intra 300 MXF OP1a SMPTE
- XAVC Intra 100 - Intra 100 MXF OP1a SMPTE
- XAVC Long - Long MXF OP1a SMPTE
- XAVC Long422 - Long MXF OP1a SMPTE
- XAVC S - Long(*.mp4)
- XDCAM MPEG2 - XDCAM MPEG2 HD 50Mbps MXF
- Avid DNxHD 220x - 220x MXF OP1a SMPTE
- Avid DNxHD 145 - 145 MXF OP1a SMPTE
- Avid DNxHD 45 - 45 MXF OP1a SMPTE
- AVC/AAC - AVC/AAC(*.mp4)
- Avid MXF OPAtom

画面解像度

- QFHD(3840x2150)
- FullHD(1920x1080)
- HD(1280x720)

フレーム周波数

- 23.976p
- 25p
- 29.97p
- 50i
- 59.94i
- 50p
- 59.94p

ここで設定した内容は、各メディアへアーカイブする際のアーカイブモード、およびサーバーへリトリブする際のリトリブモードとして選択できます。

この設定を行うには、Video Transcode Option Key が必要になります。

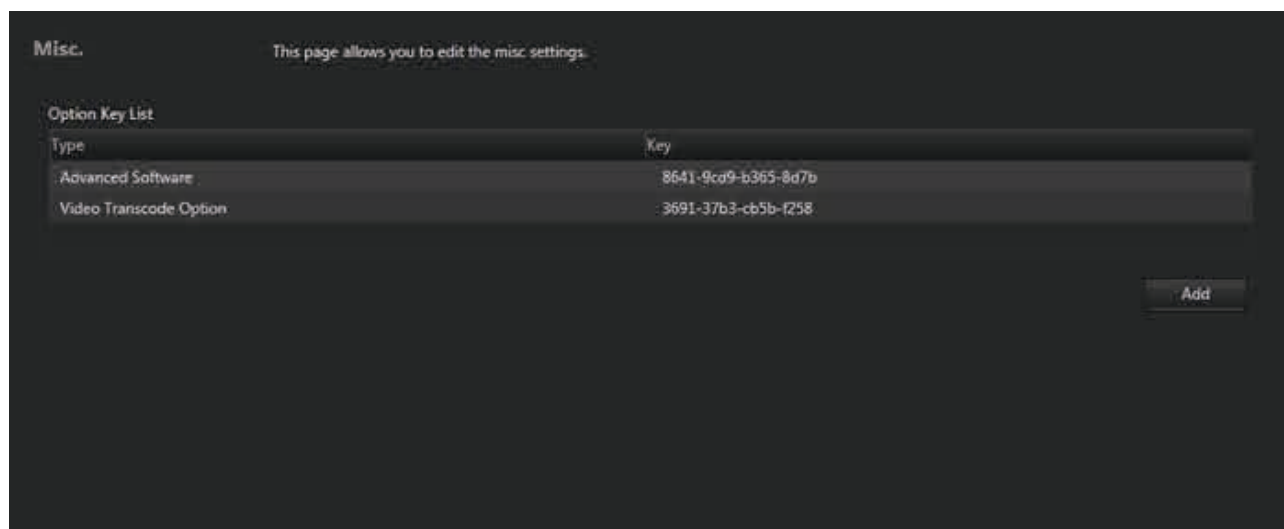
ご注意

- トランスコードを伴うアーカイブ / リトリブを行う場合、アーカイブ後およびリトリブ前のパスの長さ（ファイル名を含む）が 260 文字を超えるとトランスコードができません。トランスコードを伴うアーカイブ / リトリブを行う場合は、パスの長さにご注意ください。
- ビデオコーデック、画面解像度、フレーム周波数は、対応するフォーマットによって、表示される内容が異なります。PWS-4500 および XDS シリーズ機器のトランスコードを設定する場合は、それぞれの機器でサポートしているフォーマットが表示されます。

Misc. ページ

本ソフトウェアのオプション機能を使用するのに必要なオプションキーを入力します。

このページは、管理者権限を持つユーザーのみ表示できます。



Option Key List

入力済みのオプションキーの一覧が表示されます。

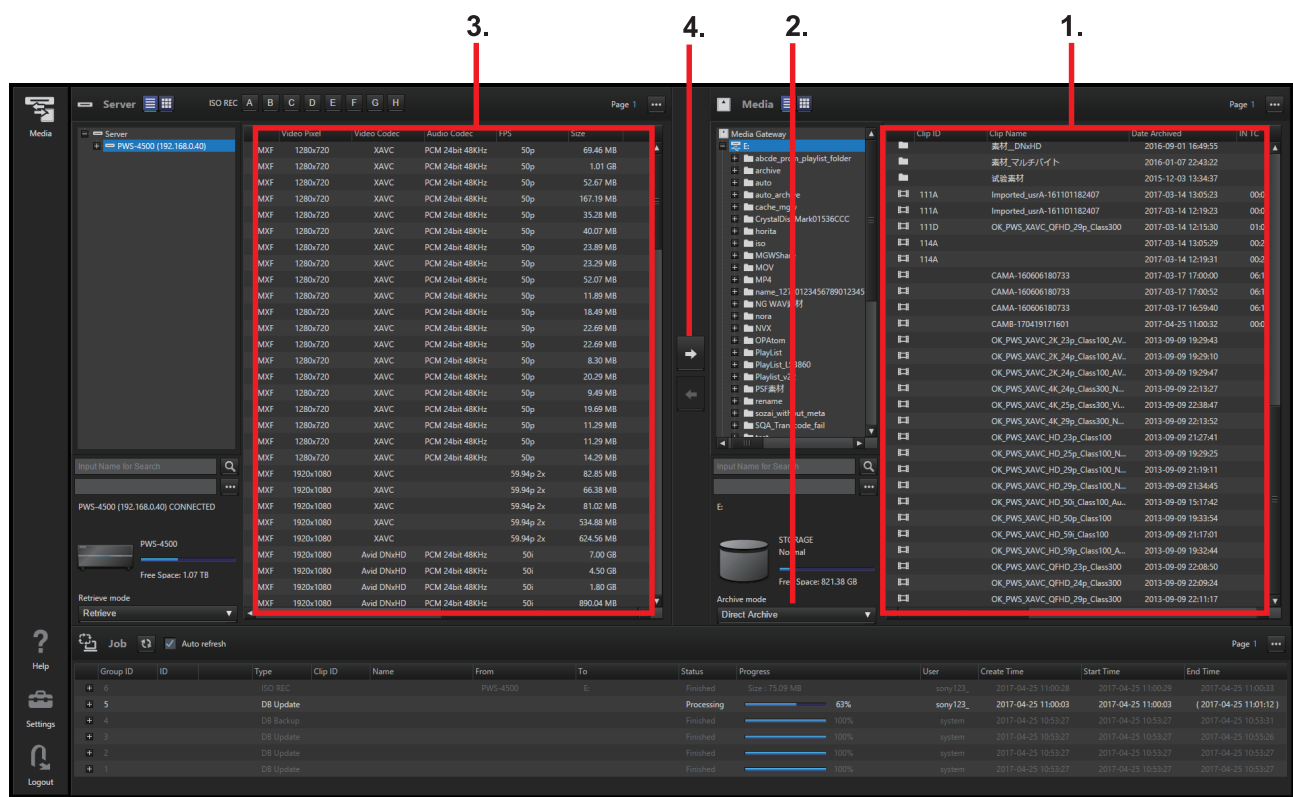
オプションキーを追加するには、[Add] ボタンをクリックし、[Option Key Setting] ダイアログでキーを入力します。

操作手順

本セクションでは、本ソフトウェアの各機能の操作方法を説明しています。

- アーカイブする
- リトリブする
- フォルダを監視してリトリブする
- サーバーで記録中のファイルをメディアに記録する (ISO REC)
- 2つの HDD に同時に記録する
- 条件を指定して自動でアーカイブする
- 他社サーバーにアーカイブする


アーカイブする



1. ホーム画面のメディアエリアで、ファイルを格納するメディアを表示させる。メディアのサブフォルダーにファイルを格納する場合は、サブフォルダーを表示させる。

ご注意

- 次の場合は、アーカイブができません。
 - メディアの状態が Normal 以外の場合
 - システムの状態が Working 以外の場合
 - アーカイブによってメディアの総容量を超える可能性がある場合
 - 一度にアーカイブするファイルの数がメディアの最大ファイル数より多い場合
 - メディア内のファイル / フォルダの総数がメディアの最大ファイル数を超える可能性がある場合

- アーカイブ先がプロフェッショナルディスクで、ディスクに記録済みのクリップのフォーマットと共存できない場合（トランスコードを伴うアーカイブの場合、実行すると進捗度 90% でエラーになります）
 - BPU4800 に記録中の HFR-Data を直接アーカイブする場合は、[Server] ページの [BPU4800 Transcode] で [HFR-Data] を選択してください。
 - BPU4800 の XAVC Transcode 設定がオフになっている場合、HFR-Data を XAVC に変換してアーカイブすることはできません。
 - BPU4800 で HFR-Data を XAVC に変換する場合、クリップが自動的に作成されます。このとき、クリップ ID が自動的に割り当てられ消費されます。自動的に消費されるクリップ ID は [Server] ページの [Clip ID Setting] で設定された内容に従います。なお、自動的に作成されたクリップは、アーカイブ終了後自動的に削除されます。
2. メディアエリアのメディア情報表示でアーカイブモードを選択する。
- Direct Archive：サーバーからメディアに直接アーカイブします。コンピューターの HDD を介さず直接メディアに転送するため、大きなファイルを短時間でアーカイブできます。
 - Cached Archive: キャッシュを使ったアーカイブです。アーカイブ対象のファイルがサーバーからいったんコンピューターのキャッシュに転送され、順次メディアにコピーされます。複数の小さいファイルのアーカイブが効率的に行えます。
 - トランスコード設定: MXF ファイルのコーデックを指定されたフォーマットにトランスコードしてアーカイブします。設定画面の [Transcode] ページで設定した内容が選択できます。
3. サーバーエリアで、アーカイブするファイルを選択する。
- 異なるサーバー上のファイルを一括でアーカイブする場合は、次の「異なるサーバーのファイルをアーカイブする」をご覧ください。
4.  ボタンをクリックする。または、選択したファイルを、格納先のメディアまたはフォルダーにドラッグ & ドロップする。
- ドラッグ & ドロップする場合は、サーバーエリアのリストエリアからメディアエリアのリストエリアにドラッグ & ドロップしてください。
5. 確認ダイアログで [Archive] ボタンをクリックする。
- アーカイブのジョブがジョブエリアに登録され、実行されます。

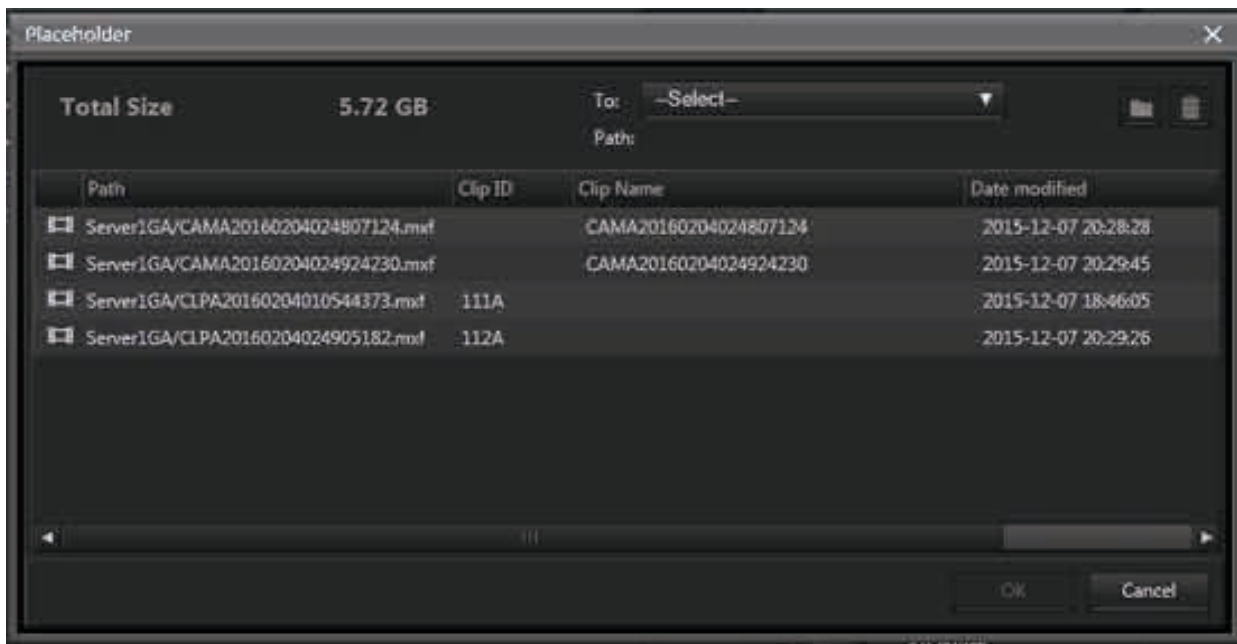
ご注意

PWA-PRC1 が記録中のファイルに対してアーカイブを実行すると、追いかけアーカイブができます。ただし、キャッシュを使ったアーカイブおよびトランスコードを伴うアーカイブはできません。

異なるサーバーのファイルをアーカイブする


アーカイブしたいファイルが複数のサーバーにある場合は、[Placeholder] ダイアログを使用します。

1. ホーム画面のサーバーエリアのリストエリアで、アーカイブしたいファイルを選択する。
 2. サーバーエリアのプルダウンメニューで [Open Placeholder] を選択する。
- [Placeholder] ダイアログが表示されます。



手順1で選択したファイルが、ファイルリストに表示されます。アーカイブしたいファイルを追加する場合は、サーバーエリアから「Placeholder」ダイアログにドラッグ＆ドロップします。

3. [To:] でアーカイブ先のメディアを選択する。

4.  ボタンをクリックして、ファイルを格納するフォルダーのパスを指定する。

5. [OK] ボタンをクリックする。

アーカイブジョブがジョブエリアに登録され、実行されます。

リトリブする

1. サーバーエリアで、リトリブするファイルを保存するサーバーを表示する。

2. Media Gateway

3. File list

4. Job list

1. サーバーエリアで、リトリブするファイルを保存するサーバーを表示する。

2. サーバーエリアのサーバー情報表示で、リトリートモードを選択する。


通常のリトリートを行う場合は、「Retrieve」を選択します。リトリートの際に MXF ファイルのコーデックをトランスコードする必要がある場合は、事前に設定画面の [Transcode] ページで設定したトランスコード設定を選択します。

3. メディアエリアで、リトリートするフォルダーまたはファイルを選択する。

ご注意

次の場合は、リトリートができません。

- リトリート先のサーバーに同じ Clip ID のファイルがある場合
(設定画面－ [Server] ページの [Clip ID Setting] で [Treat as an error when there is Clip ID in the retrieve destination] をオフにしている場合はリトリート可能です)
- メディアの状態が Normal、Read only 以外の場合
- システムの状態が Working 以外の場合
- ファイルが 50p または 59.94p で、デューレーションが奇数フレームの場合 (PWS-4500 の [System] 画面で [Import Clips with Odd Frames] を [Acceptable] に設定した場合はリトリート可)
- BPU4800 にリトリートしようとする場合

4.  ボタンをクリックする。または、選択したフォルダーまたはファイルを、保存先のサーバーにドラッグ & ドロップする。

ドラッグ & ドロップする場合は、メディアエリアのリストエリアからサーバーエリアのリストエリアにドラッグ & ドロップしてください。ツリーエリアではドラッグ & ドロップできません。

5. [Confirmation] ダイアログが表示されるので、[YES] をクリックする。

リトリートのジョブがジョブエリアに登録され、実行されます。

リトリート先のサーバーに同じ Clip ID のファイルがある場合、エラーとなります。(設定画面－ [Server] ページの [Clip ID Setting] で [Treat as an error when there is Clip ID in the retrieve destination] をオフにしている場合は、エラーとなりません)

異なるフォルダーにあるファイルをリトリートする

リトリートしたいファイルが複数のフォルダーにある場合は、[Placeholder] ダイアログを使用します。

1. ホーム画面のメディアエリアで、リトリートしたいファイルを選択する。
2. メディアエリアのプルダウンメニューで [Open Placeholder] を選択する。
[Placeholder] ダイアログが表示されます。



手順1で選択したファイルがファイルリストに表示されます。リトリートしたいファイルを追加する場合は、メディアエリアから [Placeholder] ダイアログにドラッグ & ドロップします。

3. [To:] でファイルを格納するサーバーを選択する。
4. [OK] ボタンをクリックする。

リトリートジョブがジョブエリアに登録され、実行されます。

プレイリスト / カットアウトをリトリートする

PWA-PRC1で作成したプレイリストやカットアウトデータをリトリートすることができます。

プレイリストやカットアウトデータの情報を記述したXMLファイルがメディアエリアに表示されます。このXMLファイルをリトリートすると、プレイリストやカットアウトに関連するクリップがすべてリトリートされます。リトリートの操作手順は、通常のリトリートと同じです。

ご注意

- プレイリストやカットアウトデータのXMLファイルは、アプリケーションが作成するフォルダー構成の中に格納されています。フォルダーやファイルの削除、移動、名前の変更などを行った場合は、ファイルが表示されなかったりリトリートがエラーとなることがあります。
- プレイリストやカットアウトのリトリートでトランスコードを伴う場合は、プレイリスト / カットアウト編集前のデータを復元できないことがあります。

トランスコードを伴うリトリート

WAV ファイルをリトリートする場合は、事前に設定画面 - [Transcode] ページの [WAV to MXF Conversion] で設定した内容に従って、自動的にトランスコードが行われます。

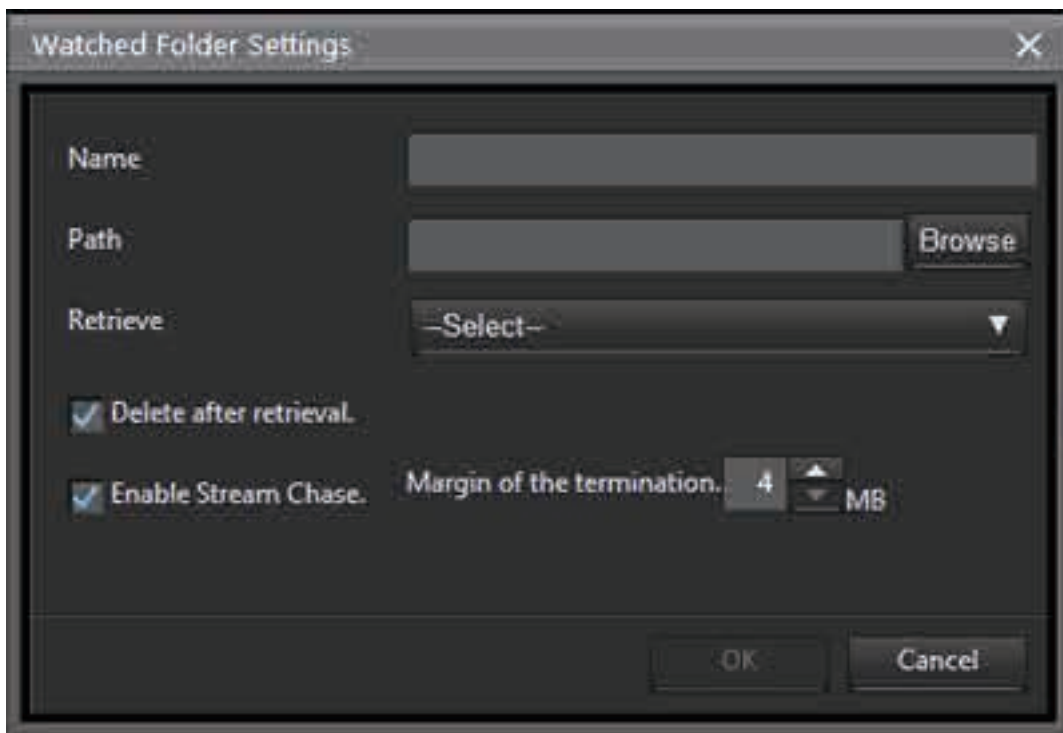
MXF ファイルをリトリートする場合は、[Transcode] ページの [Video Transcode] で設定したトランスコード設定を選択してリトリートすることができます。

フォルダーを監視してリトリートする

指定したフォルダーにコピーされたファイルを自動的にリトリートします。

1. グローバルメニューの設定アイコンをクリックする。
2. 設定画面の [Media] をクリックする。

3. [Watched Folder] の [Add] ボタンをクリックする。
[Watched Folder Settings] ダイアログが表示されます。



4. Watched Folder の情報を入力する。
- Name : Watched Folder の名前（ホーム画面の Watched Folder 表示エリアに表示される名前）を入力します。
 - Path : [Browse] ボタンをクリックして、Watched Folder の物理パスを設定します。
 - Retrieve : リトリブ先のサーバーを選択します。
 - Delete after retrieval : リトリブ完了後、ファイルを削除する場合に選択します。
 - Enable Stream Chase : Watched Folder にファイルをコピー中にリトリブを開始する（追いかけてリトリブ）場合に選択します。[Margin of the termination] は、ファイルがネットワーク経由で Watched Folder に書き込まれる場合に、ファイル終端の判定をネットワークの特性に合わせるものです。通常はデフォルトのままで使用します。
5. [OK] ボタンをクリックする。
ホーム画面のメディアエリアのツリーに Watched Folder が表示され、フォルダーの監視が始まります。監視中のフォルダーにファイルがコピーされると、自動的にリトリブされます。
6. 監視を終了する場合は、設定画面の [Media] ページで Watched Folder の設定を削除します。

ご注意

- 監視対象のファイルは、MXF/WAV/MOV/MP4 ファイルです。
- 追いかけてリトリブが可能なファイルは、MXF/MOV ファイルのみです。ただし、トランスコードを伴う追いかけてリトリブはできません。
- WAV および MP4 ファイルをリトリブする場合は、事前に設定画面の [Transcode] ページで設定したトランスコード設定をリトリブ先のサーバーで選択しておく必要があります。

サーバーで記録中のファイルをメディアに記録する (ISO REC)

PWA-PRC1 がサーバーに記録中のファイルを、サーバー上での記録と並行してメディアに記録することができます。

同時に8つのファイルを並行してメディアに記録することができます。ただし、SxSメモリーカード、カートリッジ、プロフェッショナルディスクに対しては、一度に一つしか記録できません。

通常はサーバーでの記録開始時からメディアへ記録されますが、メディアへの記録を開始する位置のタイムコードを指定することもできます。

記録を行うには、次の方法があります。

- ホーム画面で Camera ID ごとの ISO REC ボタンを使用する
- [ISO REC Mode] ダイアログで Camera ID を指定する
- 記録中のファイルを直接指定してアーカイブする

ご注意

- BPU4800 で XAVC Transcode 設定がオンになっている場合、記録中のファイルの ISO REC はできません。この場合、[ISO REC] ダイアログを起動すると [Transfer] ボタンがグレー表示になります。また、[ISO REC Mode] ダイアログの記録元のサーバーに BPU4800 が表示されますが、選択した場合 [Transfer] ボタンがグレー表示になります。
- カートリッジに記録中の MOV ファイルの ISO REC はできません。

Camera ID ごとの ISO REC ボタンを使用する

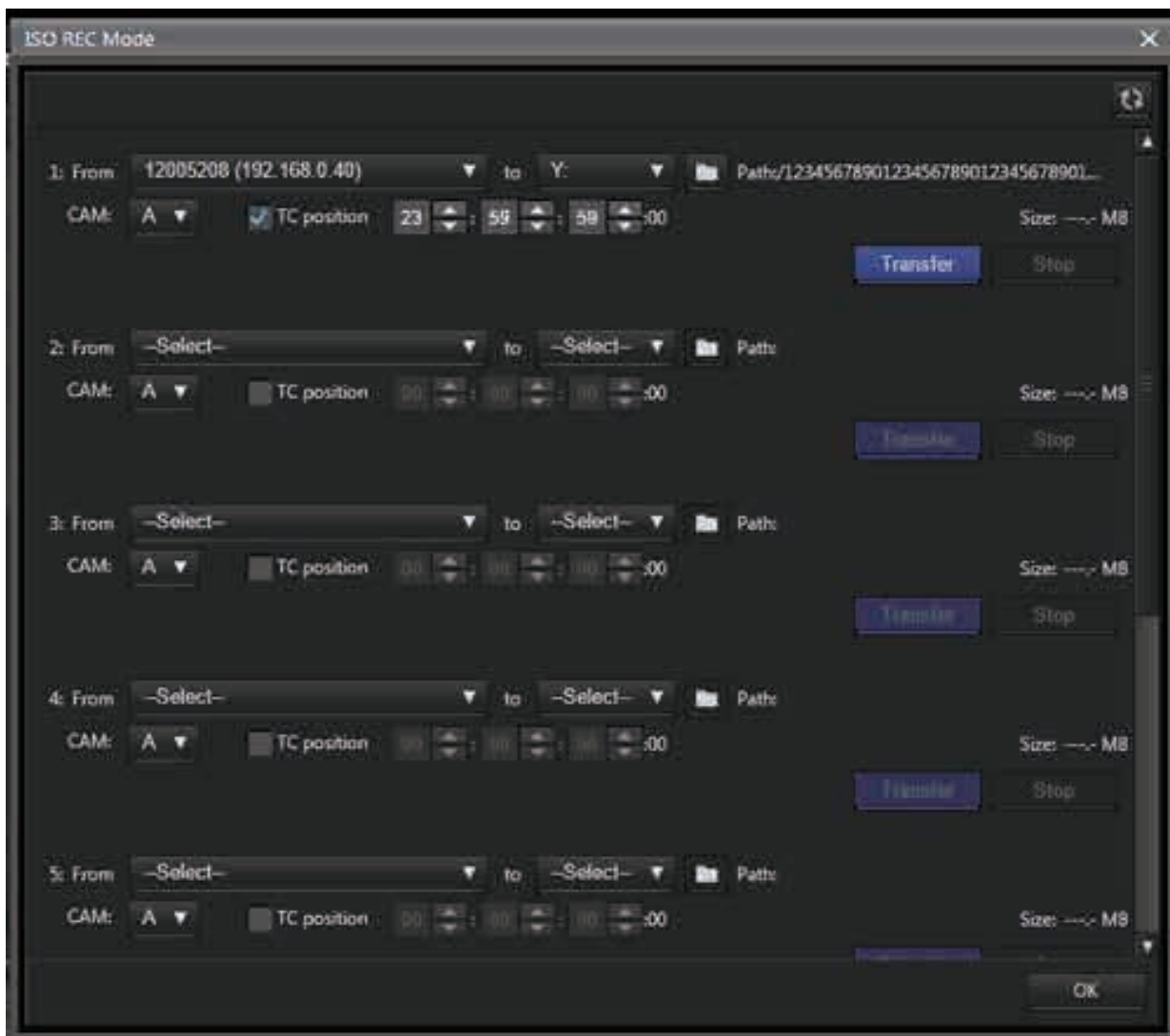
1. ホーム画面のサーバーエリアで記録中のサーバーを選択する。
2. メディアエリアで記録先のメディアとパスを指定する。
3. ホーム画面の ISO REC ボタンのうち、記録を行いたい Camera ID のボタンをクリックする。
[ISO REC] ダイアログが表示されます。




4. 記録開始位置を指定する場合は、[TC position] にチェックを入れ、タイムコードを指定する。
5. [Transfer] ボタンをクリックする。
レコードトレインのメディアへの記録が開始されます。
記録を停止するときは、[Stop] ボタンをクリックします。
6. ダイアログを閉じる場合は、[OK] ボタンをクリックする。
ダイアログを閉じて、記録は継続します。

[ISO REC Mode] ダイアログで Camera ID を指定する


1. ホーム画面のサーバーエリアのプルダウンメニューで、[ISO REC Setting] を選択する。
[ISO REC Mode] ダイアログが表示されます。



2. 記録元のサーバーとカメラ ID (A ~ H) を選択する。
3. [To:] で記録先のメディアを選択し、 (フォルダー) ボタンをクリックしてフォルダーを設定する。
4. 記録開始位置を指定する場合は、[TC position] にチェックを入れ、タイムコードを指定する。
5. [Transfer] ボタンをクリックする。
レコードトレインのメディアへの記録が開始されます。
記録を停止するときは、[Stop] ボタンをクリックします。
6. ダイアログを閉じる場合は、[OK] ボタンをクリックする。
ダイアログを閉じて、記録は継続します。

記録中のファイルを直接指定してアーカイブする

PWA-PRC1 がサーバーに記録しているファイルは、Camera ID (A ~ H) ごとに「CAMA」～「CAMH」で始まるファイル名が付いています。これらのファイルを直接指定してアーカイブすることで、メディアに転送できます。

1. ホーム画面のメディアエリアで、ファイルを格納するメディアを表示させる。メディアのサブフォルダーにファイルを格納する場合は、サブフォルダーを表示させる。
2. サーバーエリアのリストエリアで、転送したいファイル（CAM で始まるファイル）を選択する。
3.  ボタンをクリックする。または、選択したファイルを、格納先のメディアまたはフォルダーにドラッグ & ドロップする。
ドラッグ & ドロップする場合は、サーバーエリアのリストエリアからメディアエリアのリストエリアにドラッグ & ドロップしてください。
4. 確認ダイアログで [Archive] ボタンをクリックする。
メディアへの記録が開始されます。
記録を停止するときは、[Cancel] ボタンをクリックします。

通常のアーカイブと同様、[Placeholder] ダイアログを使用することもできます。

ご注意

PWA-PRC1 以外のアプリケーションでサーバーに記録する場合、ファイル名が CAM で始まらない場合がありますが、この場合でも記録中ファイルであれば直接ファイルを指定することで、同じようにアーカイブすることができます。

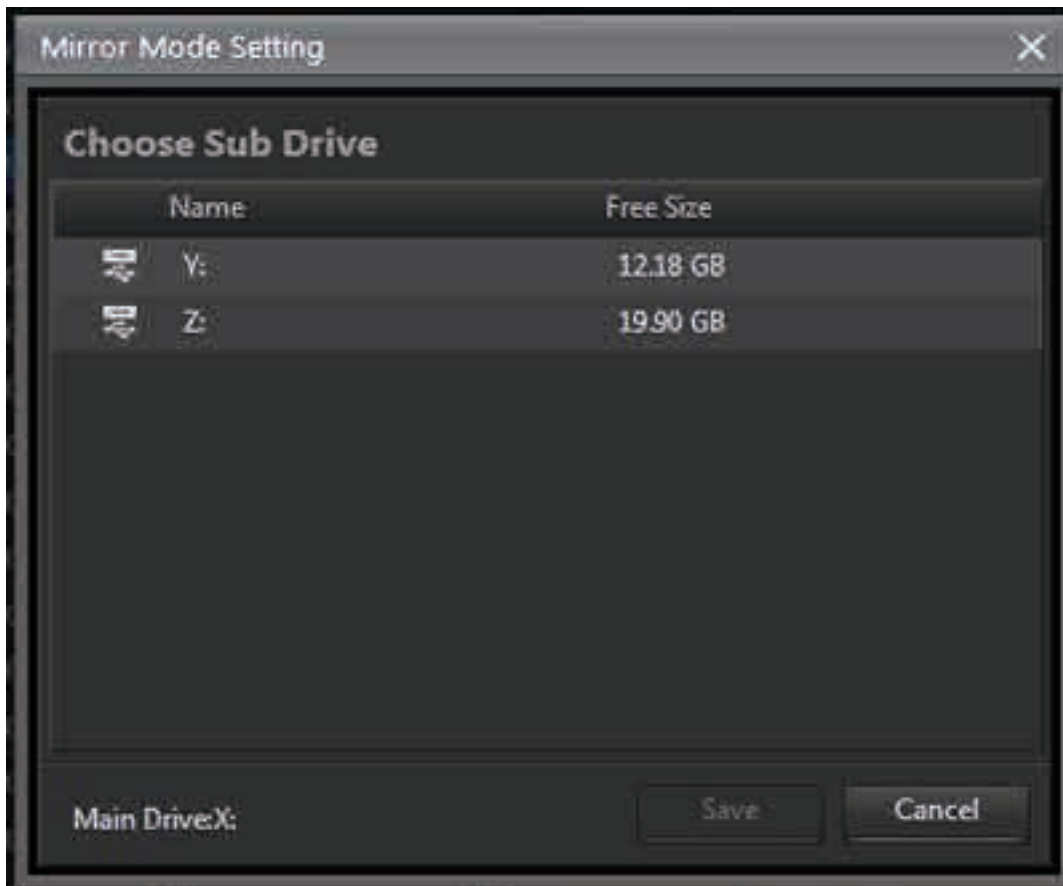
2 つの HDD に同時に記録する

ファイルをアーカイブする際に、2 つの HDD またはネットワークドライブに同じ内容を記録して、バックアップ用などとすることができます（HDD ミラーモード）。

このモードでは、メインドライブとバックアップ用のサブドライブを指定することができます。サブドライブとして設定した HDD またはネットワークドライブでは、ファイルのプレビュー表示やリトリートを行うことができません。サブドライブにファイルをアーカイブすることや、サブドライブに新規フォルダーを作成することはできません。

1. ホーム画面のメディアエリアのリストエリアで、メインドライブとする HDD またはネットワークドライブを選択する。
2. プルダウンメニューから [Mirror Mode Setting] を選択する。

3. [Mirror Mode Setting] ダイアログでサブドライブとして設定する HDD またはネットワークドライブを選択する。



4. [Save] ボタンをクリックする。

ご注意

内蔵ストレージをメインドライブまたはサブドライブとして指定することもできます。

条件を指定して自動でアーカイブする

アーカイブするファイルの条件をあらかじめ指定しておき、サーバーで条件と一致するファイルが作成されたら自動的にアーカイブすることができます。

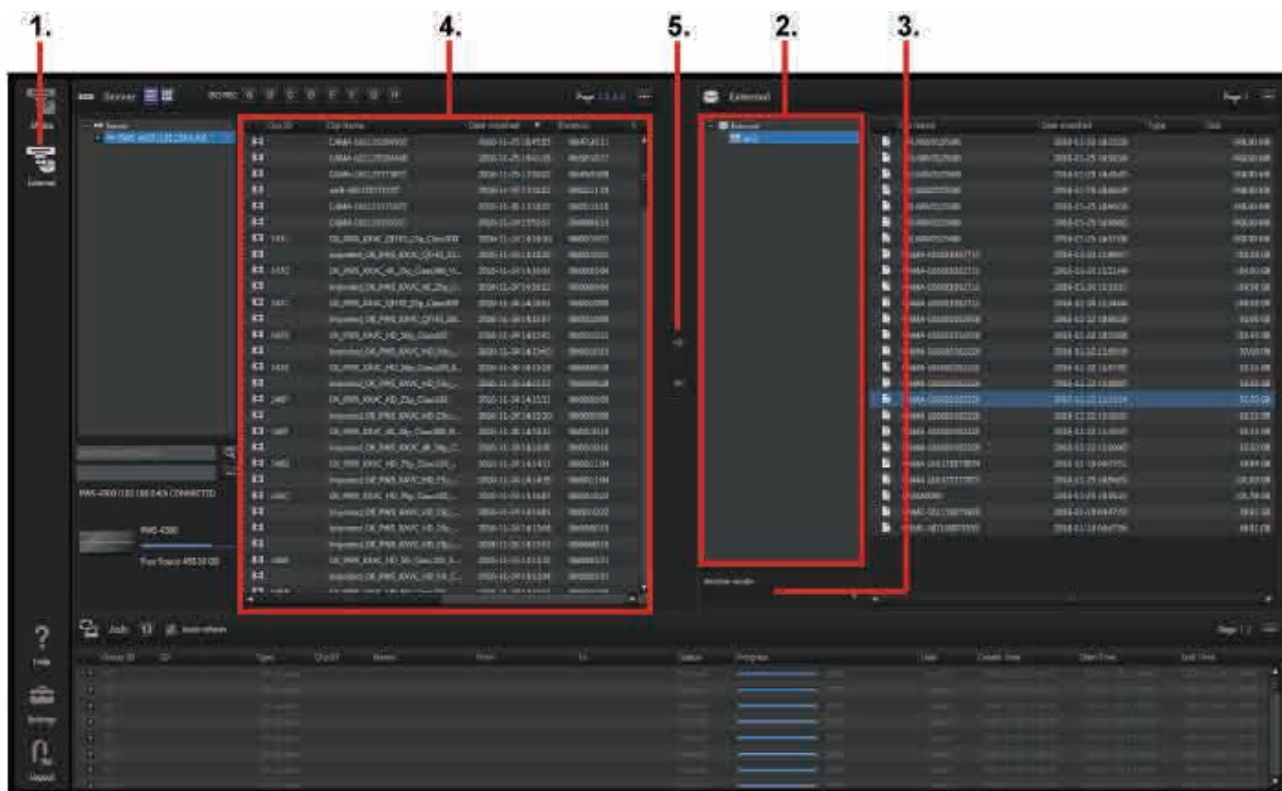
アーカイブの条件は、設定画面で行います。

1. [Add] ボタンをクリックする。
[Auto Archive Setting] ダイアログが表示されます。



2. オートアーカイブの監視対象サーバーを選択する。
3. オートアーカイブの対象とするファイルの条件を設定する。
記録日時、クリップ ID、クリップ名、記録中ステータスを条件として指定できます。
4. ファイルのアーカイブ先のパスを指定する。
5. [OK] ボタンをクリックする。

他社サーバーにアーカイブする



1. グローバルメニューで  (External) アイコンをクリックして、他社サーバー画面を表示する。

2. エクスターナルエリアのツリーエリアでファイルを格納するサーバーを選択する。

ご注意

次の場合は、アーカイブができません。

- システムの状態が Working 以外の場合
- アーカイブによってサーバーの総容量を超える可能性がある場合

3. アーカイブモードを選択する。

通常アーカイブ (SameAsSource) または他社サーバーのフォーマットにトランスコードしてアーカイブ (SameAsDest) が選択できます。

4. サーバーエリアで、アーカイブするファイルを選択する。

5.  ボタンをクリックする。

または、選択したファイルを、格納先の他社サーバーにドラッグ & ドロップする。

ドラッグ & ドロップする場合は、サーバーエリアのリストエリアからエクスターナルエリアのリストエリアにドラッグ & ドロップしてください。

6. 確認ダイアログで [Archive] ボタンをクリックする。

アーカイブのジョブがジョブエリアに登録され、実行されます。

付録

本セクションでは、次の事項について記載しています。

- Web UI へのアクセスの HTTPS 化
- ご注意
- 商標について

Web UI へのアクセスの HTTPS 化

Web UI へのアクセスに HTTPS を使うように切り替えられます。

HTTPS 通信は、サーバー証明書がインストールされている場合のみ実行されます。

サーバー証明書をインストールするには、Https Setup Tool を実行します。また、HTTPS 通信を使用していた環境で HTTPS 通信を使わないように設定を変更する場合、Https Setup Tool を使用します。

Https Setup Tool について詳しくは、インストレーションマニュアルをご覧ください。

ご注意

権利者の許諾を得ることなく、付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、および付属のソフトウェアを賃貸に使用することは、著作権法上禁止されております。

© 2013 Sony Corporation

ソフトウェアを使用したことによるお客様の損害、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負い兼ねます。

このソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。

このソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

通信を行う機器でセキュリティ対策を行わなかった結果、または、通信仕様上の、やむを得ない事情により、データ漏洩等、セキュリティ上の問題が発生した場合、弊社ではそれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

使用環境によってはネットワーク上の意図せぬ第三者から製品にアクセスされる可能性があります。本機をネットワークに接続する際には、セキュアなネットワークであることをご確認の上ご使用ください。

商標について

- Google Chrome は Google Inc. の商標または登録商標です。
- Avid は、米国およびその他の国における、Avid Technology, Inc およびその子会社、またその他の会社の、商標または登録商標です。

その他、本書に記載されているシステム名、製品名、会社名は一般に各開発メーカーの登録商標または商標です。なお、本文中では、®、™ マークは明記していません。